

平成 31 年度

専攻科 学修の手引き  
シラバス



独立行政法人国立高等専門学校機構  
和歌山工業高等専門学校

メカトロニクス工学専攻  
エコシステム工学専攻

## は じ め に

本校の専攻科は平成14年度に設置され、高専本科で学習した専門分野を基礎として、より深く、より幅広く知識と技術を身に付けた有為な技術者の育成を目指しています。「専攻科学修の手引き シラバス」は、専攻科に入学した学生の学修の案内書として毎年発行されており、本書はその平成31年度版です。

内容は三部から構成されています。「学修の手引き」の部では、本校専攻科の概要、科目等の履修に関すること、大学改革支援・学位授与機構の認定を受けた特例適用専攻科における修得単位について、日本技術者教育認定機構（J A B E E）の認定を受けた「地域環境デザイン工学」教育プログラム等が書かれています。「シラバス」の部では、科目毎の具体的な教育目標、授業内容、評価方法等の詳細が示されています。なお、「シラバス」の部は国立高専Webシラバス (<https://syllabus.kosen-k.go.jp/>) で公開しています。「付録」では、年間行事計画や学修に関連する規則などがまとめられています。さらに、特別研究・工学特別実験・工学特別ゼミナールのスケジュール、インターンシップ関連資料、進路関係資料、シャトルシート（学習目標自己達成度評価&満足度）も追加されています。

専攻科に進まれた学生諸君には、これらの内容をよく読んで、学修の意義や目的を把握し、自分自身の学習目標をしっかりと立てて、自主性を持って積極的に勉学に取り組んで成果を上げ、そして、より良い専攻科生活を送られんことを期待しています。

# I 学修の手引き

# 目 次

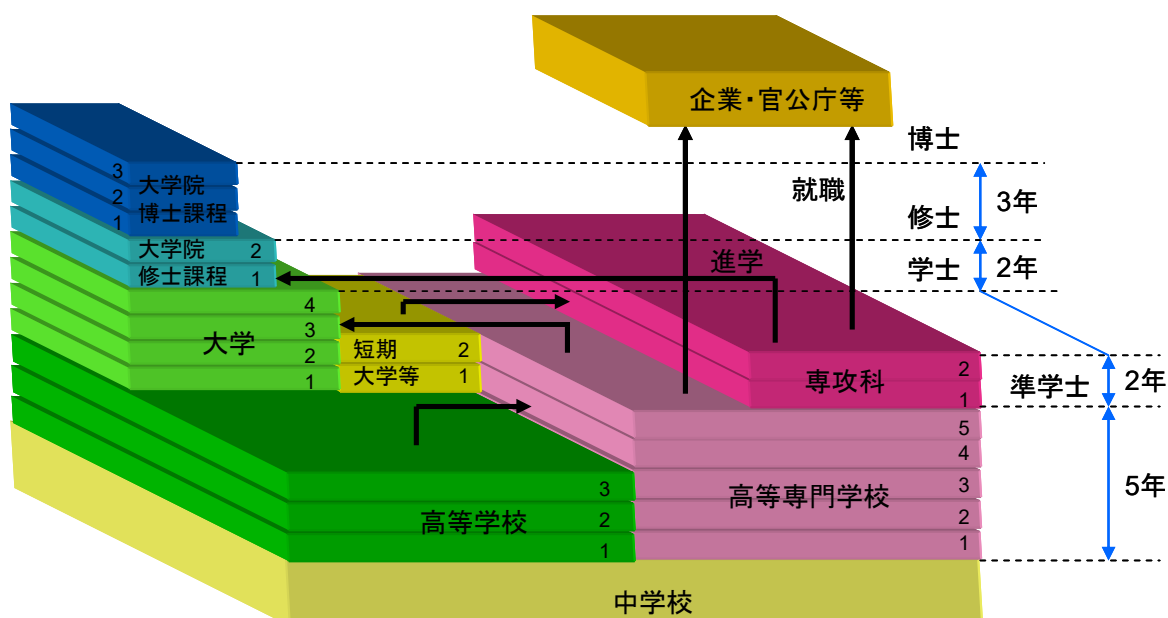
1. 専攻科の概要	A-1
(1) 専攻科の制度と特色	A-1
(2) 和歌山高専専攻科設立の理念と学習・教育目標	A-2
(3) 専攻科担当教員	A-3
2. 履修に関すること	A-5
(1) 教育課程表	A-5
(2) 科目の単位と時間数	A-7
(3) 受講の手続き	A-7
(4) 試験と単位認定	A-7
(5) 他の教育機関等で履修した単位の認定	A-8
3. 特例適用専攻科	A-9
(1) 認定科目表	A-9
(2) チェックシート	A-19
4. 地域環境デザイン工学教育プログラムについて	A-43
(1) 本教育プログラムの概要	A-43
(2) 地域環境デザイン工学教育プログラムの学習・教育目標	A-43
(3) 地域環境デザイン工学教育プログラムの修了要件	A-44
(4) 日本技術者教育認定基準	A-61

# 1. 専攻科の概要

## (1) 専攻科の制度と特色

高等専門学校では、中学校卒業生に対し早期に5年間一貫の技術教育を施すという教育システムに基づき、大学工学部に比肩しうる有能な実践的工業技術者を世に送り出すことによって全国の産業界に貢献してきました。しかしながら、近年、産業界においては、科学技術の著しい進歩と産業構造の変革が急速に進んだため、実践的能力だけでなく技術開発能力も備えた創造的技術者に対する期待が高まっており、その結果、従来の早期完成型の実践的技術者養成だけでは産業界からの期待に十分応えることができなくなりました。このような背景の下、高専本科を卒業した学生およびこれと同等の資格を有する社会人等を対象に、工業高等専門学校の5年一貫教育の特長を活かしながら、更に高度な専門的学術を教授し、技術開発能力を有する技術者を育成するのが、専攻科になります。

また、高専の専攻科は大学改革支援・学位授与機構の認定を受けており、専攻科修了生は一定の要件を満たせば同機構に申請して学士（工学）の学位を取得でき、同時に大学院への入学資格を得ることができます。



## (2) 和歌山高専専攻科設立の理念と学習・教育目標

和歌山県の中部に位置する和歌山高専は、周りに高等教育機関の無いこともあり、周辺地域からも大きな期待を持たれています。和歌山高専が発展することはその地域が発展することに繋がります、和歌山高専の責任は重大です。そのため和歌山高専はこれまで工業高専の使命としての技術者教育と全人教育、そして紀中・紀南地区唯一の高等教育機関として地域への貢献を進めてきました。高専本科卒業生およびこれと同等な資格を有する社会人等に更に2年間の教育を行う本校専攻科は、この方針を念頭に置いて平成14年4月に設立されたものです。

本校が位置する和歌山県は太平洋に面し、豊かな自然と美しい景観を有しています。地場産業としては果樹栽培に代表される農業、そして林業や水産業が中心であり、本校が主として関係する工業は比較的小規模の企業が中心となっています。このような点から、豊かな自然と調和した産業の育成や小規模の企業でも役立つ技術開発等が必要とされ、本校の責務の柱である地域貢献ではこれらの点を考慮する必要があります。

そのため本校専攻科では、知能機械工学系と電気・情報工学系の卒業生を対象とした「メカトロニクス工学専攻」と物質工学系と環境都市工学系の卒業生を対象とした「エコシステム工学専攻」の二つの専攻から構成されています。

さらに、本科第4学年から専攻科修了までの4年間は、「地域環境デザイン工学」教育プログラムー工学（複合・融合領域）ーに基づいた教育が行われます。本教育プログラムは日本技術者教育認定機構（JABEE）の審査を受け、国際水準を満足した内容になっています。

本校専攻科では、受け入れた学生に対して、本科との持続性を生かして

- ①持続可能な社会の形成に活かせる創造力
- ②多面的に問題を発見し、解決する能力
- ③豊かな人間性と国際性

を備えた技術者の育成を目標に掲げています。

さらに②の項目に対して具体化させ、メカトロニクス工学専攻では②-1「地球環境に配慮したさまざまな電気・電子・機械システムの設計・開発を行うことが出来る能力を持つ技術者」、また、エコシステム工学専攻では②-2「地球環境に配慮して物質・構造物・環境システム等の設計・開発を行うことが出来る能力を持つ技術者」の養成を行います。

上記の技術者を養成するため、本校の学習・教育目標が以下のように定められています。

- (A) 和歌山県の地域環境、地域社会との共生に関する理解および倫理観を身につけ、公共の安全や利益に配慮したものづくりの考え方を理解し説明できる。
- (B) 社会のニーズおよび環境に配慮し、かつ与えられた制約下で、工学の基礎的な知識・技術を統合して課題を解決するデザイン能力を身につける。
- (C) 自主的・継続的な学習を通じて、自己の専門分野で深い学問的知識や経験に加え、他分野

にまたがる幅広い知識を身につける。

(C-1) 自然科学・情報技術に関する基礎的素養を有し、それぞれの専門分野での問題解決のためにそれらを駆使できる能力を身につける。

(C-2) それぞれの専門分野に関する深い学問的知識と実験・実習で得た多くの経験を持ち、それらを問題解決のために応用できる能力を身につける。

(C-3) 長期的視点に立ち、計画的に継続して自らの能力を向上させようとする習慣とそれを実現する能力を身につける。

(D) 自分の考えを論理的に文章化する確かな記述力、国際的に通用するコミュニケーション基礎能力、プレゼンテーション能力を身につける。

そのため、専攻科では以下のアドミッションポリシーのもとで学生を募集しています。

1. 幅広い専門性を身に付けた技術者として、持続可能な社会の形成に貢献したい人
2. 自主的・継続的に学習や研究に取り組み、自己の向上を目指したい人
3. 技術者教育を受けるために必要な専門基礎や英語などについての基礎能力を持っている人
4. 企業において、技術者としての基礎能力を有し、更に自己の能力を伸ばしたいと考える人

専攻科のカリキュラムは本科との整合性を考慮して配置し、学生が自らの興味で自己の技術の幅を広げることが出来るように、一般科目だけでなく両専攻からも受講できるように専門共通科目を設置しています。そしてカリキュラムの見直しを適宜行い、常に時代に即した技術を身につけることが出来るようにしています。また専攻科特別研究は本科で培った研究の芽を大きく飛躍できる科目として配置しています。この2年間の取り組みで自ら研究を進めていく能力を培います。

これによって、本校専攻科の修了生は自己の専門領域で専門家としての知識・技術を身につけていると共に、隣接する専門領域にまたがる幅広い視点を持つ即戦力のエンジニアとして、広く社会で活躍できると期待されます。また、大学院で更に高度な知識と技術を修得するための素養を身に付けることが出来ます。

### (3) 専攻科担当教員

#### 一般科目

職名	氏名	所属	職名	氏名	所属
教授	和田 茂俊	総合教育科	准教授	濱田 俊彦	総合教育科
教授	宮本 克之	総合教育科	准教授	森岡 隆	総合教育科
教授	後藤 多栄子	総合教育科	准教授	David MARSH	総合教育科
教授	赤崎 雄一	総合教育科	准教授	孝森 洋介	総合教育科
准教授	平岡 和幸	総合教育科	非常勤講師	森川 寿	

メカトロニクス工学専攻

職名	氏名	所属	職名	氏名	所属
教授	榎原 恵蔵	知能機械工学科	教授	謝 孟春	電気情報工学科
教授	北澤 雅之	知能機械工学科	教授	山口 利幸	電気情報工学科
教授	大村 高弘	知能機械工学科	教授	山吹 巧一	電気情報工学科
准教授	三原 由雅	知能機械工学科	准教授	直井 弘之	電気情報工学科
准教授	津田 尚明	知能機械工学科	准教授	村田 充利	電気情報工学科
准教授	山東 篤	知能機械工学科	准教授	森 徹	電気情報工学科
准教授	早坂 良	知能機械工学科	准教授	岡本 和也	電気情報工学科
准教授	村山 暢	知能機械工学科	准教授	竹下 慎二	電気情報工学科
助教	田邊 大貴	知能機械工学科	准教授	岩崎 宣生	電気情報工学科
非常勤講師	佐々木 俊明		准教授	岡部 弘佑	電気情報工学科
			非常勤講師	徳田 将敏	

エコシステム工学専攻

職名	氏名	所属	職名	氏名	所属
教授	米光 裕	生物応用化学科	教授	辻原 治	環境都市工学科
教授	野村 英作	生物応用化学科	教授	轟巻 峰夫	環境都市工学科
教授	土井 正光	生物応用化学科	教授	小池 信昭	環境都市工学科
教授	岸本 昇	生物応用化学科	教授	三岩 敬孝	環境都市工学科
教授	綱島 克彦	生物応用化学科	准教授	伊勢 昇	環境都市工学科
教授	林 純二郎	生物応用化学科	准教授	林 和幸	環境都市工学科
准教授	奥野 祥治	生物応用化学科	准教授	山田 幸	環境都市工学科
准教授	河地 貴利	生物応用化学科	講師	青木 仁孝	環境都市工学科
准教授	楠部 真崇	生物応用化学科	助教	平野 廣佑	環境都市工学科
准教授	西本 真琴	生物応用化学科	助教	横田 恭平	環境都市工学科
准教授	森田 誠一	生物応用化学科			
准教授	SETIAMARGA Davin	生物応用化学科			



## 2. 履修に関すること

### (1) 教育課程表

#### メカトロニクス工学専攻(平成30年度以降入学)

区分	授業科目	単位数	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	備考	
一般科目	○時事英語	2	2				必修科目は、一般科目から6単位、 専門科目から22単位の合計28単位 修得すること。	
	○実用英会話	2		2				
	現代アジア論	2			2			
	ビジネスコミュニケーション	2	2					
	テクニカルライティング	2		2				
	○技術者倫理	2				2		
	一般科目 開設単位数	12	4	4	2	2		
	一般科目 修得単位	6単位以上						
専門科目	数理統計学	2			2			必修科目は、一般科目から6単位、 専門科目から22単位の合計28単位 修得すること。
	数理工学	2	2					
	線形代数	2	2					
	数値計算・解析法	2		2				
	量子力学	2	2					
	物性物理	2			2			
	情報理論	2		2				
	センサー工学	2	2					
	応用エネルギー工学	2		2				
	環境分析	2		2				
	環境化学工学	2	2					
	環境アセスメント	2		2				
	創造プログラミング	2			2			
	環境マネジメント	2				2		
	専門共通科目 開設単位数	28	10	10	6	2		
	専門共通科目 修得単位	12単位以上						
	専門専攻科目	○工学特別ゼミナール	4	2		2		選択科目は、一般科目と専門科目から 34単位以上修得すること。ただし、 専門共通科目から12単位以上、専門 専攻科目から14単位以上修得す ること。
		○工学特別実験	4	2	2			
		○特別研究Ⅰ	4	2	2			
		○特別研究Ⅱ	10			4	6	
計測制御工学		2		2				
パワーエレクトロニクス特論		2		2				
ロボット工学		2			2			
材料科学		2	2					
機能材料科学		2			2			
精密加工工学		2		2				
熱流体工学		2			2			
生産工学		2		2				
信号処理理論		2		2				
応用電子回路		2			2			
情報伝送工学	2			2				
インターンシップ	2	2						
専門専攻科目 開設単位数	46	10	14	16	6			
専門専攻科目 修得単位	36単位以上							
一般・専門科目 開設単位数 合計	86	24	28	24	10			
一般・専門科目 修得単位	62単位以上							

[註] ○印は必修科目。

インターンシップ2単位は1年次又は2年次で履修できる。開設単位数の欄では便宜上1年前期に集計してある。

工学特別ゼミナールは、通年履修科目であるが、開設単位数の欄では、便宜上、1、2年次共、前期に集計してある。

エコシステム工学専攻(平成30年度以降入学)

区分	授業科目	単位数	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	備考	
一般科目	○時事英語	2	2				必修科目は、一般科目から6単位、 専門科目から22単位の合計28単位 修得すること。	
	○実用英会話	2		2				
	現代アジア論	2			2			
	ビジネスコミュニケーション	2	2					
	テクニカルライティング	2		2				
	○技術者倫理	2				2		
	一般科目 開設単位数	12	4	4	2	2		
一般科目 修得単位	6 単位以上							
専門共通科目	数理統計学	2			2			必修科目は、一般科目から6単位、 専門科目から22単位の合計28単位 修得すること。
	数理工学	2	2					
	線形代数	2	2					
	数値計算・解析法	2		2				
	量子力学	2	2					
	物性物理	2			2			
	情報理論	2		2				
	センサー工学	2	2					
	応用エネルギー工学	2		2				
	環境分析	2		2				
	環境化学工学	2	2					
	環境アセスメント	2		2				
	創造プログラミング	2			2			
	環境マネジメント	2				2		
専門共通科目 開設単位数	28	10	10	6	2			
専門共通科目 修得単位	12 単位以上							
専門専攻科目	○工学特別ゼミナール	4	2		2		選択科目は、一般科目と専門科目から 34単位以上修得すること。ただし、 専門共通科目から12単位以上、専門 専攻科目から14単位以上修得す ること。	
	○工学特別実験	4	2	2				
	○特別研究Ⅰ	4	2	2				
	○特別研究Ⅱ	10			4	6		
	反応有機化学	2		2				
	化学反応論	2			2			
	有機機能材料	2			2			
	遺伝子工学	2	2					
	細胞工学	2		2				
	分離工学	2		2				
	生体高分子	2			2			
	応用材料工学	2	2					
	応用地盤工学	2		2				
	建設設計工学	2			2			
	社会基盤計画学	2			2			
	水圏工学	2		2				
	地域環境工学	2			2			
	複合構造工学	2			2			
	インターンシップ	2	2					
専門専攻科目 開設単位数	52	12	14	20	6			
専門専攻科目 修得単位	36 単位以上							
一般・専門科目 開設単位数 合計	92	26	28	28	10			
一般・専門科目 修得単位	62 単位以上							

[註] ○印は必修科目。

インターンシップ2単位は1年次又は2年次で履修できる。開設単位数の欄では便宜上1年前期に集計してある。

工学特別ゼミナールは、通年履修科目であるが、開設単位数の欄では、便宜上、1、2年次共、前期に集計してある。

なお、専攻科の教育課程を修了するためには下表に示す所定の単位を修得しなければなりません。

専門専攻科目 36 単位以上の内訳は、必須 22 単位と選択 14 単位以上です。

	一般科目	専 門 科 目		合 計
		専門共通科目	専門専攻科目	
メカトロニクス工学専攻	6 単位以上	12 単位以上	36 単位以上	62 単位以上
エコシステム工学専攻	6 単位以上	12 単位以上	36 単位以上	62 単位以上

## (2) 科目の単位と時間数

各授業科目の単位数は、1 単位 45 時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としています。授業の方法に応じて、当該授業による教育効果、授業時間以外の学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算しています。

- ①講義については、15 時間の授業をもって 1 単位とする。
- ②演習、工学特別ゼミナール、特別研究については、30 時間の授業をもって 1 単位とする。
- ③実験及び実習については、45 時間の授業をもって 1 単位とする。

授業回数は、90 分授業を 15 回とします。講義については 1 単位につき 30 時間の自宅学習が必要になります。自宅学習についてはシラバスの中で記述されています。単位の意味を十分理解して到達目標をクリアされることを期待します。

## (3) 受講の手続き

授業を履修するには、「履修届」を指定する日時までに学生課に提出しなければなりません。その際、次の点に留意してください。

- ① 選択科目を決定する際には、4 月当初のガイダンスに従い、各自で履修計画を立てて決定すること。
- ② 自分の履修計画が、大学改革支援・学位授与機構の基準を満たしているかを「新しい学士への途」や大学改革支援・学位授与機構のホームページで確認すること。
- ③ 「地域環境デザイン工学」教育プログラムの修了要件を満たしていることを本シラバス等でチェックすること。

## (4) 試験と単位認定

試験は、履修した科目（特別研究 I・II や工学特別実験などは該当しない）に対して、授業の終了する学期末に行われます。この場合、試験時間や履修修了認定などは科目担当教員が行

います。また、他の専攻や他の教育施設で修得した単位は、申請することにより審査の上、認定されます。

(5) 他の教育機関等で履修した単位の認定

他の教育機関等で履修あるいは修得した単位や資格などは、専攻科での修得単位数に加えることができます。

① 他の専攻で履修した単位の認定

本校の他専攻で開設されている選択科目を履修・修得した場合は、8単位を超えない範囲で単位の修得として認定されます。

② 他の教育施設で履修した単位の認定

他の教育施設（大学および高等専門学校の専攻科等）で修得した単位は16単位を超えない範囲で専攻科における授業科目の修得単位として認定されます。ただし、この限度は一般科目で2単位、専門科目で14単位までとなっています。

③ 上記②以外の単位の認定

TOEICテストによる学修をスコアにより下表の通り単位を認定します。

技能審査の種類	認定単位数
TOEICスコア470点以上	2単位
TOEICスコア730点以上	4単位













【様式第3号】

科目表

学校名 和歌山工業高等専門学校
専攻科/学科名 エコシステム工学専攻/物質工学科
専攻分野の名称 工学
専攻の区分 応用化学
適用年度 平成31年度入学生適用

※記入欄が不足する場合は、適宜追加してください。

Table with columns: 科目区分, 単位数, 履修年次, 科目名, 必・選, 単位数, 履修年次, シラバス, 概要. Rows include 専門科目 (Physics, Chemistry, etc.), 関連科目 (Mathematics, English, etc.), 学修総まとめ科目 (Special research II), and 専攻外科目 (English, Japanese, etc.).

- ① 認定専攻科で修得した単位数: 全ての科目 [2年課程: ≥62単位数 1年課程: ≥31単位数]
② 認定専攻科で修得した単位数: 専門科目 (学修総まとめ科目に該当する授業科目を除く) + 関連科目 [2年課程: ≥40単位数 1年課程: ≥20単位数]
③ 認定専攻科で修得した単位数: 専門科目 (学修総まとめ科目に該当する授業科目を含む) [2年課程: ≥31単位数 1年課程: ≥16単位数]
④ 本科及び認定専攻科で修得した単位数: 専門科目 (学修総まとめ科目に該当する授業科目を含む) + 関連科目 [≥62単位数]
⑤ 本科及び認定専攻科で修得した単位数: 専門科目以外 [≥24単位数]
⑥ 本科及び認定専攻科で修得した単位数: 外国語の単位 [必ず含む]

(注) 授業科目に科目番号が付されている場合は記入すること。(科目番号が付されていない場合は記入不要。)



科目表

学校名 和歌山工業高等専門学校
専攻科/学科名 エコシステム工学専攻/物質工学科
専攻分野の名称 工学
専攻の区分 生物工学
適用年度 平成31年度入学生適用

※記入欄が不足する場合は、適宜追加してください。

Table with columns: 科目区分, 単位修得の要件による分類, 開設科目, 授業科目名, 必・選, 単位数, 履修年次, シラバス, 概要. Contains detailed course listings for various subjects like Organic Chemistry, Biochemistry, and English.

【単位修得の要件】

- ① 認定専攻科で修得した単位: 全ての科目(2年課程: ≥62単位 1年課程: ≥31単位)
② 認定専攻科で修得した単位: 専門科目(学修総まとめ科目に該当する授業科目を除く)+開選科目(2年課程: ≥40単位 1年課程: ≥20単位)
③ 認定専攻科で修得した単位: 専門科目(学修総まとめ科目に該当する授業科目を含む)(2年課程: ≥31単位 1年課程: ≥16単位)
④ 本科及び認定専攻科で修得した単位: 専門科目(学修総まとめ科目に該当する授業科目を含む)+開選科目(≥62単位)
⑤ 本科及び認定専攻科で修得した単位: 専門科目以外(≥24単位)
⑥ 本科及び認定専攻科で修得した単位: 外国語の単位(必ず含む)

(注) 授業科目に科目番号が付されている場合は記入すること。(科目番号が付されていない場合は記入不要。)





# 特例適用専攻科

## (2)チェックシート

### (2)チェックシート

知能機械工学科－平成30年度、専攻科入学

基礎資格校単位(本科)－専門科目の単位

氏名:

整理番号

A群・B群	科目区分	科目名	単位数	必・選	授業の形態	履修したか？ チェック	修得単位数
A	機械材料・材料力学に関する科目	材料力学	2	必	講義		
		材料学	1	必	講義		
		材料力学特論	1	選	講義		
		材料強度学	2	選	講義		
A	機械工作・生産工学に関する科目	工作機械	1	選	講義		
		生産工学概論	2	選	講義		
A	設計工学・機械要素・トライボロジーに関する科目	機械設計法	1	必	講義		
A	流体工学に関する科目	流体力学	2	必	講義		
		流体工学	2	選	講義		
A	熱工学に関する科目	工業熱力学	2	必	講義		
		エネルギー工学	2	選	講義		
A	機械力学・制御に関する科目	振動工学	1	必	講義		
		自動制御	2	必	講義		
		電子制御Ⅱ	2	必	講義		
		電子制御Ⅲ	1	必	講義		
A	知能機械学・機械システムに関する科目	計測工学	1	選	講義		
		機械システム工学	2	必	講義		
		メカトロニクス設計	2	必	講義		
		情報工学	2	選	講義		
A群の小計							⑦
B	機械工学に関する実験・実習科目	機械設計製図	2	必	実習		
		県内インターンシップ	2	選	実習		
		機械工学実験	4.5	必	実験		
		卒業研究	8.5	必	その他		
		学外実習	1	選	その他		
B群の小計							⑧
A群とB群の合計							①

基礎資格校単位(本科)－関連科目の単位

科目区分	科目名	単位数	必・選	授業の形態	履修したか？ チェック	修得単位数	
工学の基礎となる科目	応用数学	4	必	講義			
	応用物理	2	必	講義			
	工業外国語	1	必	講義			
	情報処理	2	必	実習			
工学及び周辺技術に関する科目							
	環境福祉工学	2	選	講義			
	デザイン工学	2	選	講義			
単位の合計							②

基礎資格校単位(本科)－専攻外科目の単位

科目名	単位数	必・選	授業の形態	履修したか？ チェック	修得単位数	
英語	2	必	講義			
第2外国語 AⅠ, BⅠ, CⅠ(単位を修得した場合、いずれか○をつける)	3	選	講義			
英語 A, B(単位を修得した場合、いずれか○をつける)	2	選	講義			
第2外国語 AⅡ, BⅡ, CⅡ(単位を修得した場合、いずれか○をつける)	2	選	講義			
外国語科目の単位の小計						⑪
保健・体育(4年)	2	必	実技			
保健・体育(5年)	1	必	実技			
保健・体育A	1	選	実技			
日本経済論	1	必	講義			
地域と文化Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ, Ⅳ(単位を修得した場合、いずれか○をつける)	1	選	講義			
企業実践講座	1	選	講義			
ベンチャー講座	1	選	講義			
知的財産権	1	選	講義			
海外異文化交流	1	選	実習			
外国語以外科目の単位の小計						
外国語および外国語以外科目の単位の合計						③

メカトロニクス工学専攻－平成26年度以降、専攻科入学

積み上げ単位(専攻科)－専門科目の単位

氏名:

整理番号

A群・B群	科目区分	科目名	単位数	必・選	授業の形態	履修したか チェック	修得単位数
A	機械材料・材料力学に関する科目	材料科学	2	選	講義		
		機能材料学	2	選	講義		
A	機械工作・生産工学に関する科目	精密加工学	2	選	講義		
		生産工学	2	選	講義		
A	設計工学・機械要素・トライボロジーに関する科目						
A	流体工学に関する科目						
A	熱工学に関する科目	応用エネルギー工学	2	選	講義		
		熱流体工学	2	選	講義		
A	機械力学・制御に関する科目	センサー工学	2	選	講義		
		計測制御工学	2	選	講義		
A	知能機械学・機械システムに関する科目	情報理論	2	選	講義		
		ロボット工学	2	選	講義		
		信号処理論	2	選	講義		
		情報伝送工学	2	選	講義		
		創造プログラミング	2	選	講義		
A群の小計							⑨
B	機械工学に関する実験・実習科目	工学特別ゼミナール	4	必	演習		
		工学特別実験	4	必	実験		
		特別研究(1年)	4	必	その他		
		インターンシップ	2	選	その他		
B群の小計							⑩
A群とB群の合計							④

積み上げ単位(専攻科)－学修総まとめ科目

学修総まとめ科目	特別研究(2年)	10	必	その他		⑬
----------	----------	----	---	-----	--	---

積み上げ単位(専攻科)－関連科目の単位

	科目区分	科目名	単位数	必・選	授業の形態	履修した か?チェック	修得単位数
	工学の基礎となる科目	数理統計学	2	選	講義		
		数理工学	2	選	講義		
		数値計算・解析法	2	選	講義		
		線形代数	2	選	講義		
		量子力学	2	選	講義		
		物性物理	2	選	講義		
		技術者倫理	2	必	講義		
		応用電子回路	2	選	講義		
		パワーエレクトロニクス特論	2	選	講義		
	工学及び周辺技術に関する科目	環境分析	2	選	講義		
環境化学工学		2	選	講義			
環境アセスメント		2	選	講義			
環境マネジメント		2	選	講義			
単位の合計							⑮

積み上げ単位(専攻科)－専攻外科目の単位

	科目名	単位数	必・選	授業の形態	履修した か?チェック	修得単位数	
	時事英語	2	必	講義			
	実用英会話	2	必	講義			
	外国語科目の単位の合計						⑫
	現代アジア論	2	選	講義			
	ビジネスコミュニケーション	2	選	講義			
	テクニカルライティング	2	選	講義			
	外国語以外科目の単位の合計						
外国語および外国語以外科目の単位の合計							⑯



チェックシート

専攻科名:

氏名:

整理番号:

1. 基本基準

	基礎資格校単 位 (本科)	積み上げ単位 (専攻科)	左表内番号	基準	履修状況	基準を満たし ているか?	備考
「専門科目」の単位	①	④	④+⑬	31単位以上			
「関連科目」の単位	②	⑤	④+⑤	40単位以上			
学修総まとめ科目の単位	/	⑬	④+⑤+⑥+⑬	62単位以上			
「専攻外科目」の単位	③	⑥	②+③+⑤+⑥	24単位以上			
外国語の単位	⑪	⑫	⑪+⑫	1単位以上			
			①+②+④+⑤+⑬	62単位以上			

※学修総まとめ科目を含めた専門科目が31単位以上  
 ※学修総まとめ科目を含めない専門+関連が40単位以上  
 ※学修総まとめ科目を含めた積み上げ単位が62単位以上  
 ※変更なし  
 ※変更なし  
 ※学修総まとめ科目を含めた4年間の専門+関連が62単位以上

2. 専攻基準

	基礎資格校単 位 (本科)	積み上げ単位 (専攻科)	左表内番号	基準	履修状況	基準を満たし ているか?	備考
科目区分							
A群の単位	⑦	⑨	⑦+⑨	30単位以上			
B群の単位	⑧	⑩	⑧+⑩	6単位以上			
			⑦+⑧+⑨+⑩	40単位以上			
関連科目の単位	②	⑤	②+⑤	4単位以上			
その他	→	→	→	A群の区分のうち4区分以上 わたること			

(2)チェックシート

知能機械工学科－平成31年度、専攻科入学

基礎資格校単位(本科)－専門科目の単位

氏名:

整理番号

A群・B群	科目区分	科目名	単位数	必・選	授業の形態	履修したか？ チェック	修得単位数
A	機械材料・材料力学に関する科目	材料力学	2	必	講義		
		材料学	1	必	講義		
		材料力学特論	1	選	講義		
		材料強度学	2	選	講義		
A	機械工作・生産工学に関する科目	工作機械	1	選	講義		
		生産工学概論	2	選	講義		
A	設計工学・機械要素・トライボロジーに関する科目	機械設計法	1	必	講義		
A	流体工学に関する科目	流体力学	2	必	講義		
		流体工学	2	選	講義		
A	熱工学に関する科目	工業熱力学	2	必	講義		
		エネルギー工学	2	選	講義		
A	機械力学・制御に関する科目	振動工学	1	必	講義		
		自動制御	2	必	講義		
		電子制御Ⅱ	2	必	講義		
		電子制御Ⅲ	1	必	講義		
		計測工学	1	選	講義		
A	知能機械学・機械システムに関する科目	機械システム工学	2	必	講義		
		メカトロニクス設計	2	必	講義		
		情報工学	2	選	講義		
A群の小計							⑦
B	機械工学に関する実験・実習科目	機械設計製図	2	必	実習		
		県内インターンシップ	2	選	実習		
		機械工学実験	4.5	必	実験		
		卒業研究	8.5	必	その他		
		学外実習	1	選	その他		
B群の小計							⑧
A群とB群の合計							①

基礎資格校単位(本科)－関連科目の単位

科目区分	科目名	単位数	必・選	授業の形態	履修したか？ チェック	修得単位数	
工学の基礎となる科目	応用数学	4	必	講義			
	応用物理	2	必	講義			
	工業外国語	1	必	講義			
	情報処理	2	必	実習			
工学及び周辺技術に関する科目							
	環境福祉工学	2	選	講義			
	デザイン工学	2	選	講義			
単位の合計							②

基礎資格校単位(本科)－専攻外科目の単位

科目名	単位数	必・選	授業の形態	履修したか？ チェック	修得単位数	
英語	2	必	講義			
第2外国語 AⅠ, BⅠ, CⅠ(単位を修得した場合、いずれか○をつける)	3	選	講義			
英語 A, B(単位を修得した場合、いずれか○をつける)	2	選	講義			
第2外国語 AⅡ, BⅡ, CⅡ(単位を修得した場合、いずれか○をつける)	2	選	講義			
外国語科目の単位の小計						⑪
保健・体育(4年)	2	必	実技			
保健・体育(5年)	1	必	実技			
保健・体育A	1	選	実技			
日本経済論	1	必	講義			
地域と文化Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ,Ⅳ(単位を修得した場合、いずれか○をつける)	1	選	講義			
企業実践講座	1	選	講義			
ベンチャー講座	1	選	講義			
知的財産権	1	選	講義			
海外異文化交流	1	選	実習			
外国語以外科目の単位の小計						
外国語および外国語以外科目の単位の合計						③

メカトロニクス工学専攻－平成26年度以降、専攻科入学

積み上げ単位(専攻科)－専門科目の単位

氏名:

整理番号

A群・B群	科目区分	科目名	単位数	必・選	授業の形態	履修したか チェック	修得単位数
A	機械材料・材料力学に関する科目	材料科学	2	選	講義		
		機能材料学	2	選	講義		
A	機械工作・生産工学に関する科目	精密加工学	2	選	講義		
		生産工学	2	選	講義		
A	設計工学・機械要素・トライボロジーに関する科目						
A	流体工学に関する科目						
A	熱工学に関する科目	応用エネルギー工学	2	選	講義		
		熱流体工学	2	選	講義		
A	機械力学・制御に関する科目	センサー工学	2	選	講義		
		計測制御工学	2	選	講義		
A	知能機械学・機械システムに関する科目	情報理論	2	選	講義		
		ロボット工学	2	選	講義		
		信号処理理論	2	選	講義		
		情報伝送工学	2	選	講義		
		創造プログラミング	2	選	講義		
A群の小計							⑨
B	機械工学に関する実験・実習科目	工学特別ゼミナール	4	必	演習		
		工学特別実験	4	必	実験		
		特別研究(1年)	4	必	その他		
		インターンシップ	2	選	その他		
B群の小計							⑩
A群とB群の合計							④

積み上げ単位(専攻科)－学修総まとめ科目

学修総まとめ科目	特別研究(2年)	10	必	その他		⑬
----------	----------	----	---	-----	--	---

積み上げ単位(専攻科)－関連科目の単位

科目区分	科目名	単位数	必・選	授業の形態	履修した か?チェック	修得単位数	
工学の基礎となる科目	数理統計学	2	選	講義			
	数理工学	2	選	講義			
	数値計算・解析法	2	選	講義			
	線形代数	2	選	講義			
	量子力学	2	選	講義			
	物性物理	2	選	講義			
	技術者倫理	2	必	講義			
	応用電子回路	2	選	講義			
	パワーエレクトロニクス特論	2	選	講義			
工学及び周辺技術に関する科目	環境分析	2	選	講義			
	環境化学工学	2	選	講義			
	環境アセスメント	2	選	講義			
	環境マネジメント	2	選	講義			
単位の合計							⑮

積み上げ単位(専攻科)－専攻外科目の単位

科目名	単位数	必・選	授業の形態	履修した か?チェック	修得単位数	
時事英語	2	必	講義			
実用英会話	2	必	講義			
外国語科目の単位の合計						⑫
現代アジア論	2	選	講義			
ビジネスコミュニケーション	2	選	講義			
テクニカルライティング	2	選	講義			
外国語以外科目の単位の合計						
外国語および外国語以外科目の単位の合計						⑥

チェックシート

専攻科名:

氏名:

整理番号:

1. 基本基準

	基礎資格校単 位 (本科)	積み上げ単位 (専攻科)	左表内番号	基準	履修状況	基準を満たし ているか?	備考
「専門科目」の単位	①	④	④+⑬	31単位以上			
「関連科目」の単位	②	⑤	④+⑤	40単位以上			
学修総まとめ科目の単位	/	⑬	④+⑤+⑥+⑬	62単位以上			
「専攻外科目」の単位	③	⑥	②+③+⑤+⑥	24単位以上			
外国語の単位	⑪	⑫	⑪+⑫	1単位以上			
			①+②+④+⑤+⑬	62単位以上			

- ※学修総まとめ科目を含めた専門科目が31単位以上
- ※学修総まとめ科目を含めない専門+関連が40単位以上
- ※学修総まとめ科目を含めた積み上げ単位が62単位以上
- ※変更なし
- ※変更なし
- ※学修総まとめ科目を含めた4年間の専門+関連が62単位以上

2. 専攻基準

科目区分	基礎資格校単 位 (本科)	積み上げ単位 (専攻科)	左表内番号	基準	履修状況	基準を満たし ているか?	備考
A群の単位	⑦	⑨	⑦+⑨	30単位以上			
B群の単位	⑧	⑩	⑧+⑩	6単位以上			
関連科目の単位	②	⑤	⑦+⑧+⑨+⑩	40単位以上			
その他	→	→	②+⑤	4単位以上			
			→	A群の区分のうち4区分以上 わたること			

電気情報工学科—平成30年度専攻科入学以降

基礎資格校単位(本科)—専門科目の単位

氏名:

整理番号

A群・B群	科目区分	科目名	単位数	必・選	授業の形態	履修したか？ チェック	修得単位数
A	電気電子工学の基礎となる科目	電気磁気学Ⅲ	2	必	講義		
		電子工学Ⅱ	2	必	講義		
		電子回路	2	必	講義		
		自動制御	2	選	講義		
		電気電子工学の基礎となる科目の小計 ⑬					
A	電気工学に関する科目	電気材料	2	必	講義		
		メカトロニクス	2	選	講義		
		高電圧工学	1	選	講義		
		発変電工学	2	選	講義		
		送配電工学	2	選	講義		
		電気設計	2	選	講義		
		電気法規・電気施設管理	1	選	講義		
		電気エネルギー	1	選	講義		
		回路網理論	2	選	講義		
		パワーエレクトロニクス	1	選	講義		
A	電子工学に関する科目	電子デバイス	1	選	講義		
		光エレクトロニクス	1	選	講義		
		IC応用回路	1	選	講義		
A	情報通信工学に関する科目	システム設計	2	選	講義		
		データベース論	1	選	講義		
		数値解析	2	選	講義		
		情報通信Ⅱ	1	選	講義		
		情報科学	2	選	講義		
		情報セキュリティ	1	選	講義		
		オペレーティングシステム	1	選	講義		
		コンピューターグラフィックス	1	選	講義		
マルチメディア工学	1	選	講義				
A群の小計 ⑦							
B	電気電子工学に関する実験・実習科目	電気情報工学実験	5	必	実験		
		卒業研究	10	必	その他		
		学外実習	1	選	その他		
		県内インターンシップ	2	選	その他		
		電気製図	1	選	実習		
B群の小計 ⑧							
A群とB群の合計 ①							

基礎資格校単位(本科)—関連科目の単位

	科目区分	科目名	単位数	必・選	授業の形態	履修したか？ チェック	修得単位数
	工学の基礎となる科目	応用数学Ⅰ	2	必	講義		
		応用数学Ⅱ	2	必	講義		
		応用物理	2	選	講義		
		実験計画法	1	選	講義		
	工学及び周辺技術に関する科目	工業外国語	2	必	講義		
		単位の合計 ②					

基礎資格校単位(本科)—専攻外科目の単位

	科目名	単位数	必・選	授業の形態	履修したか？ チェック	修得単位数
	英語	2	必	講義		
	第2外国語 AⅠ, BⅠ, CⅠ (単位を修得した場合、いずれか○をつける)	3	選	講義		
	英語 A, B (単位を修得した場合、いずれか○をつける)	2	選	講義		
	第2外国語 AⅡ, BⅡ, CⅡ (単位を修得した場合、いずれか○をつける)	2	選	講義		
外国語科目の単位の小計 ⑪						
	保健・体育	3	必	実技		
	保健・体育A	1	選	実技		
	日本経済論	1	必	講義		
	地域と文化Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ, Ⅳ (単位を修得した場合、いずれか○をつける)	1	選	講義		
	企業実践講座	1	選	講義		
	ベンチャー講座	1	選	講義		
	知的財産権	1	選	講義		
外国語以外科目の単位の小計						
外国語および外国語以外科目の単位の合計 ⑬						

メカトロニクス工学専攻－平成30年度以降専攻科入学

積み上げ単位(専攻科)－専門科目の単位

氏名:

整理番号

A群・B群	科目区分	科目名	単位数	必・選	授業の形態	履修したか チェック	修得単位数
A	電気電子工学の基礎となる科目	計測制御工学	2	選	講義		
		ロボット工学	2	選	講義		
電気電子工学の基礎となる科目の小計							⑭
A	電気工学に関する科目	応用エネルギー工学	2	選	講義		
		生産工学	2	選	講義		
		パワーエレクトロニクス特論	2	選	講義		
A	電子工学に関する科目	センサー工学	2	選	講義		
		材料科学	2	選	講義		
		機能材料学	2	選	講義		
		応用電子回路	2	選	講義		
A	情報通信工学に関する科目	情報理論	2	選	講義		
		信号処理理論	2	選	講義		
		創造プログラミング	2	選	講義		
		情報伝送工学	2	選	講義		
A群の小計							⑨
B	電気電子工学に関する実験・実習科目						
		工学特別実験	4	必	実験		
		特別研究(1年)	4	必	その他		
		インターンシップ	2	選	その他		
B群の小計							⑩
A群とB群の合計							④

積み上げ単位(専攻科)－学修総まとめ科目

学修総まとめ科目	特別研究(2年)	10	必	その他		⑮
----------	----------	----	---	-----	--	---

積み上げ単位(専攻科)－関連科目の単位

	科目区分	科目名	単位数	必・選	授業の形態	履修した か?チェック	修得単位数
	工学の基礎となる科目	数理統計学	2	選	講義		
		数理工学	2	選	講義		
		線形代数	2	選	講義		
		数値計算・解析法	2	選	講義		
		量子力学	2	選	講義		
		物性物理	2	選	講義		
		工学特別ゼミナール	4	必	演習		
	工学及び周辺技術に関する科目	技術者倫理	2	必	講義		
		環境分析	2	選	講義		
		環境化学工学	2	選	講義		
		環境アセスメント	2	選	講義		
		環境マネジメント	2	選	講義		
		精密加工工学	2	選	講義		
		熱流体工学	2	選	講義		
単位の合計							⑤

積み上げ単位(専攻科)－専攻外科目の単位

	科目名	単位数	必・選	授業の形態	履修した か?チェック	修得単位数	
	時事英語	2	必	講義			
	実用英会話	2	必	講義			
	外国語科目の単位の小計						⑫
	現代アジア論	2	選	講義			
	ビジネスコミュニケーション	2	選	講義			
	テクニカルライティング	2	選	講義			
外国語以外科目の単位の小計							
外国語および外国語以外科目の合計						⑥	

チェックシート

専攻科名:

氏名:

整理番号:

1. 基本基準							
科目区分	基礎資格単位 (本科)	積み上げ単位 (専攻科)	左表内番号	基準	履修状況	基準を満たしているか?	備考
「専門科目」の単位	①	④	④+⑮	31単位以上			
「関連科目」の単位	②		④+⑤	40単位以上			
学修総まとめ科目の単位	/	⑮	④+⑤+⑥+⑮	62単位以上			
「専攻外科目」の単位	③	⑥	②+③+⑤+⑥	24単位以上			
外国語の単位	⑪	⑫	①+⑫	1単位以上			
			①+②+④+⑤+⑮	62単位以上			

※学修総まとめ科目を含めた専門科目が31単位以上  
 ※学修総まとめ科目を含めない専門+関連が40単位以上  
 ※学修総まとめ科目を含めた積み上げ単位が62単位以上  
 ※変更なし  
 ※変更なし  
 ※学修総まとめ科目を含めた4年間の専門+関連が62単位以上

2. 専攻基準							
科目区分	基礎資格単位 (本科)	積み上げ単位 (専攻科)	左表内番号	基準	履修状況	基準を満たしているか?	備考
A群の単位	⑦	⑨	⑦+⑨	30単位以上			
電気電子工学の基礎となる科目	⑬	⑭	⑬+⑭	4単位以上			
B群の単位	⑧	⑩	⑧+⑩	6単位以上			
			⑦+⑧+⑨+⑩	40単位以上			
関連科目の単位	②	⑤	②+⑤	4単位以上			

電気情報工学科—平成31年度専攻科入学以降

基礎資格校単位(本科)—専門科目の単位

氏名:

整理番号

A群・B群	科目区分	科目名	単位数	必・選	授業の形態	履修したか？ チェック	修得単位数
A	電気電子工学の基礎となる科目	電気磁気学Ⅲ	2	必	講義		
		電子工学Ⅱ	2	必	講義		
		電子回路	2	必	講義		
		自動制御	2	選	講義		
		ロボット工学基礎	1	選	講義		
		電気電子工学の基礎となる科目の小計					
A	電気工学に関する科目	電気材料	2	必	講義		
		メカトロニクス	2	選	講義		
		高電圧工学	1	選	講義		
		発変電工学	2	選	講義		
		送配電工学	2	選	講義		
		電気設計	2	選	講義		
		電気法規・電気施設管理	1	選	講義		
		電気エネルギー	1	選	講義		
		回路網理論	2	選	講義		
		パワーエレクトロニクス	1	選	講義		
A	電子工学に関する科目	電子デバイス	1	選	講義		
		光エレクトロニクス	1	選	講義		
		IC応用回路	1	選	講義		
A	情報通信工学に関する科目	システム設計	2	選	講義		
		データベース論	1	選	講義		
		数値解析	2	選	講義		
		情報通信Ⅱ	1	選	講義		
		情報科学	2	選	講義		
		情報セキュリティ	1	選	講義		
		オペレーティングシステム	1	選	講義		
		コンピューターグラフィックス	1	選	講義		
メディア情報工学	1	選	講義				
A群の小計							⑦
B	電気電子工学に関する実験・実習科目	電気情報工学実験	5	必	実験		
		卒業研究	10	必	その他		
		学外実習	1	選	その他		
		県内インターンシップ	2	選	その他		
		電気製図	1	選	実習		
B群の小計							⑧
A群とB群の合計							①

基礎資格校単位(本科)—関連科目の単位

	科目区分	科目名	単位数	必・選	授業の形態	履修したか？ チェック	修得単位数
	工学の基礎となる科目	応用数学Ⅰ	2	必	講義		
		応用数学Ⅱ	2	必	講義		
		実験計画法	1	選	講義		
	工学及び周辺技術に関する科目						
		工業外国語	2	必	講義		
単位の合計							②

基礎資格校単位(本科)—専攻外科目の単位

	科目名	単位数	必・選	授業の形態	履修したか？ チェック	修得単位数	
	英語	2	必	講義			
	第2外国語 AⅠ, BⅠ, CⅠ (単位を修得した場合、いずれか○をつける)	3	選	講義			
	英語 A, B (単位を修得した場合、いずれか○をつける)	2	選	講義			
	第2外国語 AⅡ, BⅡ, CⅡ (単位を修得した場合、いずれか○をつける)	2	選	講義			
外国語科目の単位の小計							⑩
	保健・体育	3	必	実技			
	保健・体育A	1	選	実技			
	日本経済論	1	必	講義			
	地域と文化Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ, Ⅳ (単位を修得した場合、いずれか○をつける)	1	選	講義			
	企業実践講座	1	選	講義			
	ベンチャー講座	1	選	講義			
	海外異文化交流	1	選	実技			
	知的財産権	1	選	講義			
外国語以外科目の単位の小計							
外国語および外国語以外科目の単位の合計							③



メカトロニクス工学専攻－平成31年度以降専攻科入学

積み上げ単位(専攻科)－専門科目の単位

氏名:

整理番号

A群・B群	科目区分	科目名	単位数	必・選	授業の形態	履修したか チェック	修得単位数
A	電気電子工学の基礎となる科目	計測制御工学	2	選	講義		
		ロボット工学	2	選	講義		
電気電子工学の基礎となる科目の小計							⑭
A	電気工学に関する科目	応用エネルギー工学	2	選	講義		
		生産工学	2	選	講義		
		パワーエレクトロニクス特論	2	選	講義		
A	電子工学に関する科目	センサー工学	2	選	講義		
		材料科学	2	選	講義		
		機能材料学	2	選	講義		
		応用電子回路	2	選	講義		
A	情報通信工学に関する科目	情報理論	2	選	講義		
		信号処理理論	2	選	講義		
		創造プログラミング	2	選	講義		
		情報伝送工学	2	選	講義		
A群の小計							⑨
B	電気電子工学に関する実験・実習科目						
		工学特別実験	4	必	実験		
		特別研究(1年)	4	必	その他		
		インターンシップ	2	選	その他		
B群の小計							⑩
A群とB群の合計							④

積み上げ単位(専攻科)－学修総まとめ科目

学修総まとめ科目	特別研究(2年)	10	必	その他		⑮
----------	----------	----	---	-----	--	---

積み上げ単位(専攻科)－関連科目の単位

科目区分	科目名	単位数	必・選	授業の形態	履修した か?チェック	修得単位数
工学の基礎となる科目	数理統計学	2	選	講義		
	数理工学	2	選	講義		
	線形代数	2	選	講義		
	数値計算・解析法	2	選	講義		
	量子力学	2	選	講義		
	物性物理	2	選	講義		
	工学特別ゼミナール	4	必	演習		
工学及び周辺技術に関する科目	技術者倫理	2	必	講義		
	環境分析	2	選	講義		
	環境化学工学	2	選	講義		
	環境アセスメント	2	選	講義		
	環境マネジメント	2	選	講義		
	精密加工工学	2	選	講義		
	熱流体工学	2	選	講義		
単位の合計						⑤

積み上げ単位(専攻科)－専攻外科目の単位

科目名	単位数	必・選	授業の形態	履修した か?チェック	修得単位数
時事英語	2	必	講義		
実用英会話	2	必	講義		
外国語科目の単位の小計					⑫
現代アジア論	2	選	講義		
ビジネスコミュニケーション	2	選	講義		
テクニカルライティング	2	選	講義		
外国語以外科目の単位の小計					
外国語および外国語以外科目の単位合計					⑥

チェックシート

専攻科名:

氏名:

整理番号:

1. 基本基準							
科目区分	基礎資格単位 (本科)	積み上げ単位 (専攻科)	左表内番号	基準	履修状況	基準を満たしているか?	備考
「専門科目」の単位	①	④	④+⑮	31単位以上			
「関連科目」の単位	②	⑤	④+⑤	40単位以上			
学修総まとめ科目の単位	/	⑮	④+⑤+⑥+⑮	62単位以上			
「専攻外科目」の単位	③	⑥	②+③+⑤+⑥	24単位以上			
外国語の単位	⑪	⑫	①+⑫	1単位以上			
			①+②+④+⑤+⑮	62単位以上			

※学修総まとめ科目を含めた専門科目が31単位以上  
 ※学修総まとめ科目を含めない専門+関連が40単位以上  
 ※学修総まとめ科目を含めた積み上げ単位が62単位以上  
 ※変更なし  
 ※変更なし  
 ※学修総まとめ科目を含めた4年間の専門+関連が62単位以上

2. 専攻基準							
科目区分	基礎資格単位 (本科)	積み上げ単位 (専攻科)	左表内番号	基準	履修状況	基準を満たしているか?	備考
A群の単位	⑦	⑨	⑦+⑨	30単位以上			
電気電子工学の基礎となる科目	⑬	⑭	⑬+⑭	4単位以上			
B群の単位	⑧	⑩	⑧+⑩	6単位以上			
			⑦+⑧+⑨+⑩	40単位以上			
関連科目の単位	②	⑤	②+⑤	4単位以上			

物質工学科－専攻科平成26年度以降入学(応用化学専攻)

基礎資格校単位(本科) & 積み上げ単位(専攻科)－専門科目の単位

氏名:

整理番号

A群・B群	科目区分	科目名	単位数 本科	単位数 専攻科	必・選	授業の形態	履修したか チェック	修得単位数 本科	修得単位数 専攻科
A-1	物理化学に関する科目	物理化学	2		必	講義			
		量子化学	1		選	講義			
		物性物理化学	2		選	講義			
		化学反応論		2	選	講義			
A-1	無機化学に関する科目	無機材料化学	2		物コ必	講義			
A-1	有機化学に関する科目	有機化学	1		必	講義			
		合成化学	2		物コ必	講義			
		反応有機化学		2	選	講義			
A-1	分析化学に関する科目	機器分析I	1		必	講義			
		機器分析II	1		選	講義			
		環境分析		2	選	講義			
A-1	生物化学に関する科目	生物化学	2		必	講義			
		生物物理化学	1		選	講義			
		生体高分子		2	選	講義			
A-1	化学工学に関する基本的科目	化学工学(4年)	3		必	講義			
		化学工学(5年)	2		必	講義			
		移動速度論	1		選	講義			
		反応工学	2		物コ必	講義			
		分離工学		2	選	講義			
A-1群の小計								7	9
A-2	工業化学・化学プロセスに関する科目	有機資源工学	1		選	講義			
		環境工学	1		選	講義			
		環境化学工学		2	選	講義			
		応用エネルギー工学		2	選	講義			
A-2	生命・生物工学に関する科目	蛋白質工学	1		選	講義			
		食品工学	2		選	講義			
		分子生物学	4		生コ必	講義			
		酵素化学	2		生コ必	講義			
		培養工学	2		生コ必	講義			
		遺伝子工学		2	選	講義			
		細胞工学		2	選	講義			
A-2	材料化学に関する科目	有機材料化学	2		物コ必	講義			
		高分子化学	2		必	講義			
		センサー工学		2	選	講義			
		有機機能材料		2	選	講義			
A-2群の小計								7	9
B	応用化学に関する実験・実習科目	物質工学実験I	8		物コ必	実習			
		物質工学実験II	6		物コ必	実習			
		学外実習	1		選	その他			
		卒業研究	7		必	実験			
		工学特別実験		4	必	実験			
		特別研究(1年次)		4	必	実験			
		工学特別ゼミナール		4	必	その他			
		インターンシップ		2	選	その他			
B群の小計								8	10
A-1群、A-2群、B群の合計								17	24

積み上げ単位(専攻科)－学修総まとめ科目

学修総まとめ科目	特別研究(2年次)	10	必	実験			10
----------	-----------	----	---	----	--	--	----

基礎資格校単位(本科) & 積み上げ単位(専攻科)－関連科目の単位

科目区分	科目名	単位数 本科	単位数 専攻科	必・選	授業の形態	履修した か?チェック	修得単位数 本科	修得単位数 専攻科	
工学の基礎となる科目	応用数学	2		必	講義				
	応用物理	2		必	講義				
	知的財産権	1		選	講義				
	物質工学実用数学	1		選	講義				
	工業外国語	1		選	講義				
	物質工学特論	1		選	講義				
	数理統計学		2	選	講義				
	数理工学		2	選	講義				
	数値計算・解析法		2	選	講義				
	線形代数		2	選	講義				
	量子力学		2	選	講義				
	物性物理		2	選	講義				
	情報理論		2	選	講義				
	工学及び周辺技術に関する科目	計測制御工学	1		選	講義			
		電気工学概論	1		選	講義			
		機械工学概論	1		選	講義			
		企業実践講座	1		選	講義			
技術者倫理			2	必	講義				
環境アセスメント			2	選	講義				
創造プログラミング			2	選	講義				
環境マネジメント			2	選	講義				
応用地盤工学			2	選	講義				
建設設計工学			2	選	講義				
社会基盤計画学			2	選	講義				
水圏工学			2	選	講義				
地域環境工学			2	選	講義				
複合構造工学			2	選	講義				
応用材料工学			2	選	講義				
単位の合計								2	5

基礎資格校単位(本科) & 積み上げ単位(専攻科)－専攻外科目の単位

科目名	単位数 本科	単位数 専攻科	必・選	授業の形態	履修した か?チェック	修得単位数 本科	修得単位数 専攻科		
英語	2		必	講義					
第2外国語 A I, B I, C I (単位を修得した場合、いずれか○をつける)	3		選	講義					
英語 A, B (単位を修得した場合、いずれか○をつける)	2		選	講義					
第2外国語 A II, B II, C II (単位を修得した場合、いずれか○をつける)	2		選	講義					
時事英語		2	必	講義					
実用英会話		2	必	講義					
外国語科目の単位の合計								11	12
保健・体育(4年)	2		必	実技					
保健・体育(5年)	1		必	実技					
保健・体育A	1		選	実技					
日本経済論	1		必	講義					
地域と文化 I, II, III, IV (単位を修得した場合、いずれか○をつける)	1		選	講義					
海外異文化交流	1		選	実習					
現代アジア論		2	選	講義					
ビジネスコミュニケーション		2	選	講義					
テニスマルティプレイング		2	選	講義					
外国語以外科目の単位の合計								3	6
外国語および外国語以外科目の単位の合計								3	6

物質工学科－専攻科平成26年度以降入学(生物工学専攻)

基礎資格校単位(本科) & 積み上げ単位(専攻科)－専門科目の単位

氏名:

整理番号

A群・B群	科目区分	科目名	単位数 本科	単位数 専攻科	必・選	授業の形態	履修したか チェック	修得単位数 本科	修得単位数 専攻科
A-1	生物学に関する科目	分子生物学	4		生コ必	講義			
A-1	化学に関する科目	有機化学	1		必	講義			
		物理化学	2		必	講義			
		高分子化学	2		必	講義			
		有機資源化学	1		選	講義			
		量子化学	1		選	講義			
		生物物理化学	1		選	講義			
		物性物理化学	2		選	講義			
		無機材料化学	2		物コ必	講義			
		有機材料化学	2		物コ必	講義			
		合成化学	2		物コ必	講義			
		反応有機化学		2	選	講義			
		生体高分子		2	選	講義			
		有機機能材料		2	選	講義			
		化学反応論		2	選	講義			
A-1	生化学に関する科目	生物化学	2		必	講義			
		酵素化学	2		生コ必	講義			
A-1	生物物理学に関する科目								
A-1	化学工学に関する科目	化学工学(4年)	3		必	講義			
		化学工学(5年)	2		必	講義			
		移動速度論	1		選	講義			
		反応工学	2		物コ必	講義			
		分離工学		2	選	講義			
A-1群の小計							7	9	
A-2	生物工学に関する基本的科目	培養工学	2		生コ必	講義			
		遺伝子工学		2	選	講義			
		細胞工学		2	選	講義			
A-2	生物工学の応用に関する科目	食品工学	2		選	講義			
		蛋白質工学	1		選	講義			
		環境工学	1		選	講義			
		センサー工学		2	選	講義			
		応用エネルギー工学		2	選	講義			
		環境分析		2	選	講義			
		環境化学工学		2	選	講義			
		環境アセスメント		2	選	講義			
		創造プログラミング		2	選	講義			
		環境マネジメント		2	選	講義			
A-2群の小計							7	9	
B	生物工学に関する実験・実習科目	生物工学実験I	8		生コ必	実習			
		生物工学実験II	6		生コ必	実習			
		学外実習	1		選	その他			
		卒業研究	7		必	実験			
		工学特別実験		4	必	実験			
		特別研究(1年次)		4	必	実験			
		工学特別ゼミナール		4	必	その他			
		インターンシップ		2	選	その他			
		B群の小計							8
A-1群、A-2群、B群の合計							17	28	

積み上げ単位(専攻科)－学修総まとめ科目

学修総まとめ科目	特別研究(2年次)	10	必	実験				10
----------	-----------	----	---	----	--	--	--	----

基礎資格校単位(本科) & 積み上げ単位(専攻科)－関連科目の単位

科目区分	科目名	単位数 本科	単位数 専攻科	必・選	授業の形態	履修した か?チェック	修得単位数 本科	修得単位数 専攻科	
工学の基礎となる科目	応用数学	2		必	講義				
	応用物理	2		必	講義				
	知的財産権	1		選	講義				
	機器分析I	1		必	講義				
	機器分析II	1		選	講義				
	工業外国語	1		選	講義				
	物質工学実用数学	1		選	講義				
	物質工学特論	1		選	講義				
	量子力学		2	選	講義				
	数理工学		2	選	講義				
	数理統計学		2	選	講義				
	数値計算・解析法		2	選	講義				
	線形代数		2	選	講義				
	物性物理		2	選	講義				
	情報理論		2	選	講義				
	工学及び周辺技術に関する科目	計測制御工学	1		選	講義			
		電気工学概論	1		選	講義			
		機械工学概論	1		選	講義			
		企業実践講座	1		選	講義			
技術者倫理			2	必	講義				
応用地盤工学			2	選	講義				
建設設計工学			2	選	講義				
社会基盤計画学			2	選	講義				
水圏工学			2	選	講義				
地域環境工学			2	選	講義				
複合構造工学			2	選	講義				
応用材料工学			2	選	講義				
単位の合計							22	25	

基礎資格校単位(本科) & 積み上げ単位(専攻科)－専攻外科目の単位

科目名	単位数 本科	単位数 専攻科	必・選	授業の形態	履修した か?チェック	修得単位数 本科	修得単位数 専攻科	
英語	2		必	講義				
第2外国語 A I, B I, C I (単位を修得した場合、いずれか○をつける)	3		選	講義				
英語 A, B (単位を修得した場合、いずれか○をつける)	2		選	講義				
第2外国語 A II, B II, C II (単位を修得した場合、いずれか○をつける)	2		選	講義				
時事英語		2	必	講義				
実用英会話		2	必	講義				
外国語科目の単位の合計							11	12
保健・体育(4年)	2		必	実技				
保健・体育(5年)	1		必	実技				
保険・体育A	1		選	実技				
日本経済論	1		必	講義				
地域と文化 I, II, III, IV (単位を修得した場合、いずれか○をつける)	1		選	講義				
海外異文化交流	1		選	実習				
現代アジア論		2	選	講義				
ビジネスコミュニケーション		2	選	講義				
テカライティング		2	選	講義				
外国語以外科目の単位の合計							3	6
外国語および外国語以外科目の単位の合計							14	18

チェックシート

専攻科名:

氏名:

整理番号:

1. 基本基準

	基礎資格校単位 (本科)	積み上げ単位 (専攻科)
「専門科目」の単位	①	④
「関連科目」の単位	②	⑤
学修総まとめ科目の単位		⑬
「専攻外科目」の単位	③	⑥
外国語の単位	⑪	⑫

左表内番号	基準	履修状況	基準を満たしているか?	備考
④+⑬	31単位以上			
④+⑤	40単位以上			
④+⑤+⑥+⑬	62単位以上			
②+③+⑤+⑥	24単位以上			
⑪+⑫	1単位以上			
①+②+④+⑤+⑬	62単位以上			

※学修総まとめ科目を含めた専門科目が31単位以上

※学修総まとめ科目を含めない専門+関連が40単位以上

※学修総まとめ科目を含めた積み上げ単位が62単位以上

※変更なし

※変更なし

※学修総まとめ科目を含めた4年間の専門+関連が62単位以上

2. 専攻基準

科目区分	基礎資格校単位 (本科)	積み上げ単位 (専攻科)
A-1群の単位	⑦1	⑨1
A-2群の単位	⑦2	⑨2
B群の単位	⑧	⑩
関連科目の単位	②	⑤

左表内番号	基準	履修状況	基準を満たしているか?	備考
⑦1+⑨1	20単位以上			
⑦2+⑨2	10単位以上			
⑧+⑩	6単位以上			
⑦1+⑨1+⑦2+⑨2+⑧+⑩	40単位以上			
②+⑤	4単位以上			

物質工学科—専攻科平成31年度以降入学(応用化学専攻)  
基礎資格校単位(本科) & 積み上げ単位(専攻科)—専攻科目の単位

		氏名:				整理番号			
A群・B群	科目区分	科目名	単位数 本科	単位数 専攻科	必・選	授業の形態	履修したか チェック	修得単位数 本科	修得単位数 専攻科
A-1	物理化学に関する科目	物理化学	2		必	講義			
		量子化学	1		選	講義			
		物性物理化学	2		選	講義			
		化学反応論		2	選	講義			
A-1	無機化学に関する科目	無機材料化学	2		物コ必	講義			
A-1	有機化学に関する科目	有機化学	1		必	講義			
		合成化学	2		物コ必	講義			
		反応有機化学		2	選	講義			
A-1	分析化学に関する科目	機器分析I	1		必	講義			
		機器分析II	1		選	講義			
		環境分析		2	選	講義			
A-1	生物化学に関する科目	生物化学	2		必	講義			
		生物物理化学	1		選	講義			
		生体高分子		2	選	講義			
A-1	化学工学に関する基本的科目	化学工学(4年)	3		必	講義			
		化学工学(5年)	2		必	講義			
		移動速度論	1		選	講義			
		反応工学	2		物コ必	講義			
		分離工学		2	選	講義			
A-1群の小計								7	1
A-2	工業化学・化学プロセスに関する科目	有機資源工学	1		選	講義			
		環境工学	1		選	講義			
		環境化学工学		2	選	講義			
		応用エネルギー工学		2	選	講義			
A-2	生命・生物工学に関する科目	蛋白質工学	1		選	講義			
		食品工学	2		選	講義			
		分子生物学	4		生コ必	講義			
		酵素化学	2		生コ必	講義			
		培養工学	2		生コ必	講義			
		遺伝子工学		2	選	講義			
A-2	材料化学に関する科目	有機材料化学	2		物コ必	講義			
		高分子化学	2		必	講義			
		センサー工学		2	選	講義			
		有機機能材料		2	選	講義			
A-2群の小計								7	2
B	応用化学に関する実験・実習科目	物質工学実験I	8		物コ必	実習			
		生物工学実験I	8		生コ必	実習			
		物質工学実験II	6		物コ必	実習			
		生物工学実験II	6		生コ必	実習			
		学外実習	1		選	その他			
		卒業研究	7		必	実験			
		工学特別実験		4	必	実験			
		特別研究(1年次)		4	必	実験			
		工学特別ゼミナール		4	必	その他			
		インターンシップ		2	選	その他			
		B群の小計							
A-1群、A-2群、B群の合計								1	4

積み上げ単位(専攻科)—学修総まとめ科目

学修総まとめ科目	特別研究(2年次)	10	必	実験			11
----------	-----------	----	---	----	--	--	----

基礎資格校単位(本科) & 積み上げ単位(専攻科)—関連科目の単位

科目区分	科目名	単位数 本科	単位数 専攻科	必・選	授業の形態	履修したか チェック	修得単位数 本科	修得単位数 専攻科	
工学の基礎となる科目	応用数学	2		必	講義				
	応用物理	2		必	講義				
	知的財産権	1		選	講義				
	物質工学実用数学	1		選	講義				
	工業外国語	1		選	講義				
	物質工学特論	1		選	講義				
	数理統計学		2	選	講義				
	数理工学		2	選	講義				
	数値計算・解析法		2	選	講義				
	線形代数		2	選	講義				
	量子力学		2	選	講義				
	物性物理		2	選	講義				
	情報理論		2	選	講義				
	工学及び周辺技術に関する科目	計測制御工学	1		選	講義			
電気工学概論		1		選	講義				
機械工学概論		1		選	講義				
企業実践講座		1		選	講義				
技術者倫理			2	必	講義				
環境アセスメント			2	選	講義				
創造プログラミング			2	選	講義				
環境マネジメント			2	選	講義				
応用地盤工学			2	選	講義				
建設設計工学			2	選	講義				
社会基盤計画学			2	選	講義				
水圏工学			2	選	講義				
地域環境工学			2	選	講義				
複合構造工学			2	選	講義				
応用材料工学		2	選	講義					
単位の合計								2	5

基礎資格校単位(本科) & 積み上げ単位(専攻科)—専攻外科目の単位

科目名	単位数 本科	単位数 専攻科	必・選	授業の形態	履修したか チェック	修得単位数 本科	修得単位数 専攻科
英語	2		必	講義			
第2外国語 A I, B I, C I (単位を修得した場合、いずれか○をつける)	3		選	講義			
英語 A, B (単位を修得した場合、いずれか○をつける)	2		選	講義			
第2外国語 A II, B II, C II (単位を修得した場合、いずれか○をつける)	2		選	講義			
時事英語		2	必	講義			
実用英会話		2	必	講義			
外国語科目の単位の合計						11	12
保健・体育(4年)	2		必	実技			
保健・体育(5年)	1		必	実技			
保健・体育A	1		選	実技			
日本経済論	1		必	講義			
地域と文化 I, II, III, IV (単位を修得した場合、いずれか○をつける)	1		選	講義			
海外異文化交流	1		選	実習			
現代アジア論		2	選	講義			
ビジネスコミュニケーション		2	選	講義			
ITスキルアップ		2	選	講義			
外国語以外科目の単位の合計							
外国語および外国語以外科目の単位の合計						3	6

物質工学科—専攻科平成31年度以降入学(生物工学専攻)

基礎資格校単位(本科) & 積み上げ単位(専攻科)—専攻科目の単位

氏名:

整理番号

A群・B群	科目区分	科目名	単位数 本科	単位数 専攻科	必・選	授業の形態	履修したか チェック	修得単位数 本科	修得単位数 専攻科
A-1	生物学に関する科目	分子生物学	4		生コ必	講義			
A-1	化学に関する科目	有機化学	1		必	講義			
		物理化学	2		必	講義			
		高分子化学	2		必	講義			
		有機資源化学	1		選	講義			
		量子化学	1		選	講義			
		生物物理化学	1		選	講義			
		物性物理化学	2		選	講義			
		無機材料化学	2		物コ必	講義			
		有機材料化学	2		物コ必	講義			
		合成化学	2		物コ必	講義			
		反応有機化学	2	2	選	講義			
		生体高分子	2	2	選	講義			
		有機機能材料	2	2	選	講義			
		化学反応論	2	2	選	講義			
A-1		生化学に関する科目	生物化学	2		必	講義		
		酵素化学	2		生コ必	講義			
A-1	生物物理学に関する科目								
A-1	化学工学に関する科目	化学工学(4年)	3		必	講義			
		化学工学(5年)	2		必	講義			
		移動速度論	1		選	講義			
		反応工学	2		物コ必	講義			
		分離工学	2	2	選	講義			
A-1群の小計								71	31
A-2	生物工学に関する基本的科目	培養工学	2		生コ必	講義			
		遺伝子工学	2	2	選	講義			
		細胞工学	2	2	選	講義			
A-2	生物工学の応用に関する科目	食品工学	2		選	講義			
		蛋白質工学	1		選	講義			
		環境工学	1		選	講義			
		センサー工学	2	2	選	講義			
		応用エネルギー工学	2	2	選	講義			
		環境分析	2	2	選	講義			
		環境化学工学	2	2	選	講義			
		環境アセスメント	2	2	選	講義			
		創発プログラミング	2	2	選	講義			
		環境マネジメント	2	2	選	講義			
A-2群の小計								72	32
B	生物工学に関する実験・実習科目	物質工学実験I	8		物コ必	実習			
		生物工学実験I	8		生コ必	実習			
		物質工学実験II	6		物コ必	実習			
		生物工学実験II	6		生コ必	実習			
		学外実習	1		選	その他			
		卒業研究	7		必	実験			
		工学特別実験	4	4	必	実験			
		特別研究(1年次)	4	4	必	実験			
		工学特別ゼミナール	4	4	必	その他			
		インターンシップ	2	2	選	その他			
B群の小計								8	10
A-1群、A-2群、B群の合計								1	4

積み上げ単位(専攻科)—学修総まとめ科目

学修総まとめ科目	特別研究(2年次)	単位数	必・選	授業の形態	履修したか チェック	修得単位数 本科	修得単位数 専攻科
		10	必	実験			13

基礎資格校単位(本科) & 積み上げ単位(専攻科)—関連科目の単位

科目区分	科目名	単位数 本科	単位数 専攻科	必・選	授業の形態	履修したか チェック	修得単位数 本科	修得単位数 専攻科	
工学の基礎となる科目	応用数学	2		必	講義				
	応用物理	2		必	講義				
	知的財産権	1		選	講義				
	機器分析I	1		必	講義				
	機器分析II	1		選	講義				
	工業外国語	1		選	講義				
	物質工学実用数学	1		選	講義				
	物質工学特論	1		選	講義				
	量子力学	2	2	選	講義				
	数理工学	2	2	選	講義				
	数理統計学	2	2	選	講義				
	数値計算・解析法	2	2	選	講義				
	線形代数	2	2	選	講義				
	物性物理	2	2	選	講義				
	情報理論	2	2	選	講義				
	工学及び周辺技術に関する科目	計測制御工学	1		選	講義			
		電気工学概論	1		選	講義			
		機械工学概論	1		選	講義			
企業実践講座		1		選	講義				
技術者倫理		2	2	必	講義				
応用地盤工学		2	2	選	講義				
建設設計工学		2	2	選	講義				
社会基盤計画学		2	2	選	講義				
水圏工学		2	2	選	講義				
地域環境工学		2	2	選	講義				
複合構造工学		2	2	選	講義				
応用材料工学		2	2	選	講義				
単位の合計							2	5	

基礎資格校単位(本科) & 積み上げ単位(専攻科)—専攻外科目の単位

科目名	単位数 本科	単位数 専攻科	必・選	授業の形態	履修したか チェック	修得単位数 本科	修得単位数 専攻科	
英語	2		必	講義				
第2外国語 A I, B I, C I (単位を修得した場合、いずれか○をつける)	3		選	講義				
英語 A, B (単位を修得した場合、いずれか○をつける)	2		選	講義				
第2外国語 A II, B II, C II (単位を修得した場合、いずれか○をつける)	2		選	講義				
時事英語	2	2	必	講義				
実用英会話	2	2	必	講義				
外国語科目の単位の合計							11	12
保健・体育(4年)	2		必	実技				
保健・体育(5年)	1		必	実技				
保険・体育A	1		選	実技				
日本経済論	1		必	講義				
地域と文化 I, II, III, IV (単位を修得した場合、いずれか○をつける)	1		選	講義				
海外異文化交流	1		選	実習				
現代アジア論	2	2	選	講義				
ビジネスコミュニケーション	2	2	選	講義				
イカカライティング	2	2	選	講義				
外国語以外科目の単位の合計							3	6
外国語および外国語以外の単位の合計							3	6

チェックシート

専攻科名:

氏名:

整理番号:

1. 基本基準

	基礎資格校単位 (本科)	積み上げ単位 (専攻科)
「専門科目」の単位	①	④
「関連科目」の単位	②	⑤
学修総まとめ科目の単位		⑬
「専攻外科目」の単位	③	⑥
外国語の単位	⑪	⑫

左表内番号	基準	履修状況	基準を満たしているか?	備考
④+⑬	31単位以上			
④+⑤	40単位以上			
④+⑤+⑥+⑬	62単位以上			
②+③+⑤+⑥	24単位以上			
⑪+⑫	1単位以上			
①+②+④+⑤+⑬	62単位以上			

※学修総まとめ科目を含めた専門科目が31単位以上

※学修総まとめ科目を含めない専門+関連が40単位以上

※学修総まとめ科目を含めた積み上げ単位が62単位以上

※変更なし

※変更なし

※学修総まとめ科目を含めた4年間の専門+関連が62単位以上

2. 専攻基準

科目区分	基礎資格校単位 (本科)	積み上げ単位 (専攻科)
A-1群の単位	⑦1	⑨1
A-2群の単位	⑦2	⑨2
B群の単位	⑧	⑩
関連科目の単位	②	⑤

左表内番号	基準	履修状況	基準を満たしているか?	備考
⑦1+⑨1	20単位以上			
⑦2+⑨2	10単位以上			
⑧+⑩	6単位以上			
⑦1+⑨1+⑦2+⑨2+⑧+⑩	40単位以上			
②+⑤	4単位以上			



環境都市工学科—平成30年度入学  
基礎資格校単位(本科)—専門科目の単位

専攻科入学平成30年度

氏名:

整理番号

A群・B群	科目区分	科目名	単位数	必・選	授業の形態	履修したか？ チェック	修得単位数
A	構造・材料に関する科目	構造力学Ⅲ	2	必	講義		
		コンクリート構造学Ⅱ	1	必	講義		
		鋼構造学	2	選	講義		
		コンクリート構造学特論	1	選	講義		
		社会基盤メンテナンス工学	1	選	講義		
		振動工学	1	選	講義		
		耐震工学	1	選	講義		
		構造力学特論	1	選	講義		
		設計製図Ⅱ	2	必	演習		
		設計製図Ⅲ	2	必	演習		
A	水工・環境に関する科目	水理学Ⅱ	2	必	講義		
		水工水理学	2	選	講義		
		資源循環システム学	1	選	講義		
		環境計画学	1	選	講義		
		水道工学	1	選	講義		
		下水道工学	1	選	講義		
		都市環境工学	1	選	講義		
A	土質・施工に関する科目	土質力学	2	必	講義		
		土質力学特論	1	選	講義		
		環境地盤工学	1	選	講義		
		施工管理学	2	選	講義		
A	計画・交通に関する科目	測量学Ⅳ	1	必	講義		
		計画数理	1	選	講義		
		道路工学	1	選	講義		
		交通システム	1	選	講義		
A	都市・景観に関する科目	地形情報処理学	1	選	講義		
		都市地域計画	1	選	講義		
		景観工学	1	選	講義		
A群の小計						⑦	
B	土木工学に関する実験・実習科目	基礎実験Ⅱ	2	必	実験		
		学外実習	1	選	実習		
		県内インターンシップ	2	選	実習		
		卒業研究	10	必	実験		
B群の小計						⑧	
A群とB群の合計						①	

基礎資格校単位(本科)—関連科目の単位

科目区分	科目名	単位数	必・選	授業の形態	履修したか？ チェック	修得単位数	
工学の基礎となる科目	応用数学Ⅰ	2	必	講義			
	応用数学Ⅱ	2	必	講義			
	工業外国語	1	選	講義			
工学及び周辺技術に関する科目	総合演習Ⅰ	1	必	演習			
	総合演習Ⅱ	1	選	演習			
	応用情報処理演習Ⅰ	1	選	講義			
	応用情報処理演習Ⅱ	1	選	講義			
	機械工学概論	1	選	講義			
	電気工学概論	1	選	講義			
	建築学概論	1	選	講義			
単位の合計						②	

基礎資格校単位(本科)—専攻外科目の単位

科目名	単位数	必・選	授業の形態	履修したか？ チェック	修得単位数	
英語	2	必	講義			
第2外国語 AⅠ, BⅠ, CⅠ (単位を修得した場合、いずれか○をつける)	3	選	講義			
英語 A, B (単位を修得した場合、いずれか○をつける)	2	選	講義			
第2外国語 AⅡ, BⅡ, CⅡ (単位を修得した場合、いずれか○をつける)	2	選	講義			
外国語科目の単位の小計						①
保健・体育(4年)	2	必	実技			
保健・体育(5年)	1	必	実技			
保健・体育A	1	選	実技			
日本経済論	1	必	講義			
地域と文化Ⅰ,Ⅱ,Ⅲ,Ⅳ(単位を修得した場合、いずれか○をつける)	1	選	講義			
企業実践講座	1	選	講義			
ベンチャー講座	1	選	講義			
知的財産権	1	選	講義			
海外異文化交流	1	選	実習			
外国語以外科目の単位の小計						
外国語および外国語以外科目の合計						③

エコシステム工学専攻－平成26年度入学～

積み上げ単位(専攻科)－専門科目の単位

氏名:

整理番号

A群・B群	科目区分	科目名	単位数	必・選	授業の形態	履修したか チェック	修得単位数
A	構造・材料に関する科目	応用材料工学	2	選	講義		
		複合構造工学	2	選	講義		
		建設設計工学	2	選	講義		
A	水工・環境に関する科目	環境分析	2	選	講義		
		環境化学工学	2	選	講義		
		環境アセスメント	2	選	講義		
		環境マネジメント	2	選	講義		
		地域環境工学	2	選	講義		
		水圏工学	2	選	講義		
A	土質・施工に関する科目	応用地盤工学	2	選	講義		
A	計画・交通に関する科目	社会基盤計画学	2	選	講義		
		創造プログラミング	2	選	講義		
A	都市・景観に関する科目						
						A群の小計	⑨
B	土木工学に関する実験・実習科目	工学特別ゼミナール	4	必	演習		
		工学特別実験	4	必	実験		
		特別研究(1年)	4	必	その他		
		インターンシップ	2	選	その他		
						B群の小計	⑩
						A群とB群の合計	④

積み上げ単位(専攻科)－学修総まとめ科目

学修総まとめ科目	特別研究(2年)	10	必	その他		⑬
----------	----------	----	---	-----	--	---

積み上げ単位(専攻科)－関連科目の単位

	科目区分	科目名	単位数	必・選	授業の形態	履修した か?チェック	修得単位数
	工学の基礎となる科目	数理統計学	2	選	講義		
		数理工学	2	選	講義		
		線形代数	2	選	講義		
		数値計算・解析法	2	選	講義		
		化学反応論	2	選	講義		
		分離工学	2	選	講義		
		技術者倫理	2	必	講義		
	工学及び周辺技術に関する科目	量子力学	2	選	講義		
		物性物理	2	選	講義		
		情報理論	2	選	講義		
		センサー工学	2	選	講義		
		応用エネルギー工学	2	選	講義		
		反応有機化学	2	選	講義		
		細胞工学	2	選	講義		
		生体高分子	2	選	講義		
		遺伝子工学	2	選	講義		
		有機機能材料	2	選	講義		
						単位の合計	⑤

積み上げ単位(専攻科)－専攻外科目の単位

	科目名	単位数	必・選	授業の形態	履修した か?チェック	修得単位数	
	時事英語	2	必	講義			
	実用英会話	2	必	講義			
						外国語科目の単位の小計	⑫
	現代アジア論	2	選	講義			
	ビジネスコミュニケーション	2	選	講義			
	テクニカルライティング	2	選	講義			
						外国語以外科目の単位の小計	
						外国語および外国語以外科目の単位の合計	⑥

1. 基本基準

基礎資格校単 位 (本科)	積み上げ単位 (専攻科)	左表内番号	基準	履修状況	基準を満たし ているか?	備考
①	④	④+⑬	31単位以上			
②	⑤	④+⑤	40単位以上			
③	⑬	④+⑤+⑥+⑬	62単位以上			
⑥	⑥	②+③+⑤+⑥	24単位以上			
⑪	⑫	⑪+⑫	1単位以上			
		①+②+④+⑤+⑬	62単位以上			

※学修総まとめ科目を含めた専門科目が31単位以上

※学修総まとめ科目を含めない専門+関連が40単位以上

※学修総まとめ科目を含めた積み上げ単位が62単位以上

※変更なし

※変更なし

※学修総まとめ科目を含めた4年間の専門+関連が62単位以上

2. 専攻基準

基礎資格校単 位 (本科)	積み上げ単位 (専攻科)	左表内番号	基準	履修状況	基準を満たし ているか?	備考
⑦	⑨	⑦+⑨	30単位以上			
⑧	⑩	⑧+⑩	6単位以上			
②	⑤	②+⑤	4単位以上			
		⑦+⑧+⑨+⑩	40単位以上			

環境都市工学科—平成31年度専攻科入学

基礎資格校単位(本科)—専門科目の単位

氏名:

整理番号

A群・B群	科目区分	科目名	単位数	必・選	授業の形態	履修したか？ チェック	修得単位数
A	構造・材料に関する科目	構造力学Ⅲ	2	必	講義		
		コンクリート構造学Ⅱ	1	必	講義		
		鋼構造学	2	選	講義		
		コンクリート構造学特論	1	選	講義		
		社会基盤メンテナンス工学	1	選	講義		
		振動工学	1	選	講義		
		耐震工学	1	選	講義		
		構造力学特論	1	選	講義		
		設計製図Ⅱ	2	必	演習		
		設計製図Ⅲ	2	必	演習		
A	水工・環境に関する科目	水理学Ⅱ	2	必	講義		
		水工水理学	2	選	講義		
		資源循環システム学	1	選	講義		
		環境計画学	1	選	講義		
		上下水道工学	2	選	講義		
		都市環境工学	1	選	講義		
A	土質・施工に関する科目	土質力学	2	必	講義		
		土質力学特論	1	選	講義		
		環境地盤工学	1	選	講義		
		施工管理学	2	選	講義		
A	計画・交通に関する科目	測量学Ⅳ	1	必	講義		
		計画数理	1	選	講義		
		道路工学	1	選	講義		
		交通システム	1	選	講義		
A	都市・景観に関する科目	地形情報処理学	1	選	講義		
		都市地域計画	1	選	講義		
		景観工学	1	選	講義		
A群の小計							⑦
B	土木工学に関する実験・実習科目	基礎実験Ⅱ	2	必	実験		
		学外実習	1	選	実習		
		県内インターンシップ	2	選	実習		
		卒業研究	10	必	実験		
B群の小計							⑧
A群とB群の合計							①

基礎資格校単位(本科)—関連科目の単位

科目区分	科目名	単位数	必・選	授業の形態	履修したか？ チェック	修得単位数	
工学の基礎となる科目	応用数学Ⅰ	2	必	講義			
	応用数学Ⅱ	2	必	講義			
	工業外国語	1	選	講義			
工学及び周辺技術に関する科目	総合演習Ⅰ	1	必	演習			
	総合演習Ⅱ	1	選	演習			
	応用情報処理演習Ⅰ	1	選	講義			
	応用情報処理演習Ⅱ	1	選	講義			
	機械工学概論	1	選	講義			
	電気工学概論	1	選	講義			
	建築学概論	1	選	講義			
単位の合計							②

基礎資格校単位(本科)—専攻外科目の単位

科目名	単位数	必・選	授業の形態	履修したか？ チェック	修得単位数	
英語	2	必	講義			
第2外国語 AⅠ, BⅠ, CⅠ (単位を修得した場合、いずれか○をつける)	3	選	講義			
英語 A, B (単位を修得した場合、いずれか○をつける)	2	選	講義			
第2外国語 AⅡ, BⅡ, CⅡ (単位を修得した場合、いずれか○をつける)	2	選	講義			
外国語科目の単位の小計						⑩
保健・体育(4年)	2	必	実技			
保健・体育(5年)	1	必	実技			
保健・体育A	1	選	実技			
日本経済論	1	必	講義			
地域と文化Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ, Ⅳ (単位を修得した場合、いずれか○をつける)	1	選	講義			
企業実践講座	1	選	講義			
ベンチャー講座	1	選	講義			
知的財産権	1	選	講義			
海外異文化交流	1	選	実習			
外国語以外科目の単位の小計						
外国語および外国語以外科目の単位の合計						③

エコシステム工学専攻－平成31年度専攻科入学

積み上げ単位(専攻科)－専門科目の単位

氏名:

整理番号

A群・B群	科目区分	科目名	単位数	必・選	授業の形態	履修したか？チェック	修得単位数
A	構造・材料に関する科目	応用材料工学	2	選	講義		
		複合構造工学	2	選	講義		
		建設設計工学	2	選	講義		
A	水工・環境に関する科目	環境分析	2	選	講義		
		環境化学工学	2	選	講義		
		環境アセスメント	2	選	講義		
		環境マネジメント	2	選	講義		
		地域環境工学	2	選	講義		
		水圏工学	2	選	講義		
A	土質・施工に関する科目	応用地盤工学	2	選	講義		
A	計画・交通に関する科目	社会基盤計画学	2	選	講義		
		創造プログラミング	2	選	講義		
A	都市・景観に関する科目						
						A群の小計	⑨
B	土木工学に関する実験・実習科目	工学特別ゼミナール	4	必	演習		
		工学特別実験	4	必	実験		
		特別研究(1年)	4	必	その他		
		インターンシップ	2	選	その他		
						B群の小計	⑩
						A群とB群の合計	④

積み上げ単位(専攻科)－学修総まとめ科目

学修総まとめ科目	特別研究(2年)	10	必	その他		⑬
----------	----------	----	---	-----	--	---

積み上げ単位(専攻科)－関連科目の単位

	科目区分	科目名	単位数	必・選	授業の形態	履修したか？チェック	修得単位数
	工学の基礎となる科目	数理統計学	2	選	講義		
		数理工学	2	選	講義		
		線形代数	2	選	講義		
		数値計算・解析法	2	選	講義		
		化学反応論	2	選	講義		
		分離工学	2	選	講義		
		技術者倫理	2	必	講義		
	工学及び周辺技術に関する科目	量子力学	2	選	講義		
		物性物理	2	選	講義		
		情報理論	2	選	講義		
		センサー工学	2	選	講義		
		応用エネルギー工学	2	選	講義		
		反応有機化学	2	選	講義		
		細胞工学	2	選	講義		
		生体高分子	2	選	講義		
		遺伝子工学	2	選	講義		
		有機機能材料	2	選	講義		
						単位の合計	⑮

積み上げ単位(専攻科)－専攻外科目の単位

	科目名	単位数	必・選	授業の形態	履修したか？チェック	修得単位数	
	時事英語	2	必	講義			
	実用英会話	2	必	講義			
						外国語科目の単位の小計	⑯
	現代アジア論	2	選	講義			
	ビジネスコミュニケーション	2	選	講義			
	テクニカルライティング	2	選	講義			
						外国語以外科目の単位の小計	
						外国語および外国語以外科目の単位の合計	⑯

1. 基本基準

	基礎資格校単 位 (本科)	積み上げ単位 (専攻科)	左表内番号	基準	履修状況	基準を満たし ているか?	備考
「専門科目」の単位	①	④	④+⑬	31単位以上			
「関連科目」の単位	②	⑤	④+⑤	40単位以上			
学修総まとめ科目の単位	/	⑬	④+⑤+⑥+⑬	62単位以上			
「専攻外科目」の単位	③	⑥	②+③+⑤+⑥	24単位以上			
外国語の単位	⑪	⑫	⑪+⑫	1単位以上			
			①+②+④+⑤+⑬	62単位以上			

※学修総まとめ科目を含めた専門科目が31単位以上  
 ※学修総まとめ科目を含めない専門+関連が40単位以上  
 ※学修総まとめ科目を含めた積み上げ単位が62単位以上  
 ※変更なし  
 ※変更なし  
 ※学修総まとめ科目を含めた4年間の専門+関連が62単位以上

2. 専攻基準

科目区分	基礎資格校単 位 (本科)	積み上げ単位 (専攻科)	左表内番号	基準	履修状況	基準を満たし ているか?	備考
A群の単位	⑦	⑨	⑦+⑨	30単位以上			
B群の単位	⑧	⑩	⑧+⑩	6単位以上			
関連科目の単位	②	⑤	②+⑤	4単位以上			
			⑦+⑧+⑨+⑩	40単位以上			

#### 4. 地域環境デザイン工学教育プログラムについて

##### (1) 本教育プログラムの概要

本校では、技術者としての素養をしっかりと身に付けた学生を育成するため「地域環境デザイン工学」教育プログラムを平成17年度から実施しています。本プログラムは、本科4年・5年及び専攻科1年・2年生のカリキュラムによって構成されるもので、日本技術者教育認定機構（JABEE）の認定を2006年度に受けました。その後、継続審査を2回（2011年、2017年）受け、認定継続になっています。本教育プログラムの課程を修了した学生には、国際的な技術者資格である技術士の第一次試験が免除され、技術士の基礎資格である修習技術者の資格が与えられます。



「地域環境デザイン工学」教育プログラムは、4年間の継続的な教育により、主となる専門分野（メカトロニクス工学、エコシステム工学）およびその基礎となる機械工学、電気情報工学、物質工学、環境都市工学を基にした地域環境に配慮しながら新技術開発のデザインをできる能力を持ち、コミュニケーション能力や情報処理能力を駆使しながら、①「持続可能な社会の形成に活かせる創造力」、②「多面的に問題を発見し解決する能力」、③「豊かな人間性と国際性」を備えた技術者を育成することを目的としています。

本プログラム修了者は、「地域環境デザイン工学」教育プログラムの学習・教育目標を全て達成していなければなりません。

##### (2) 「地域環境デザイン工学」教育プログラムの学習・教育目標

学習・教育目標として、次の4つを定めています。

- (A) 和歌山県の地域環境、地域社会との共生に関する理解および倫理観を身につけ、公共の安全や利益に配慮したものづくりの考え方を理解し説明できる。
- (B) 社会のニーズおよび環境に配慮し、かつ与えられた制約下で、工学の基礎的な知識・技術を統合して課題を解決するデザイン能力を身につける。
- (C) 自主的・継続的な学習を通じて、自己の専門分野での深い学問的知識や経験に加え、他分野にまたがる幅広い知識を身につける。
  - (C-1) 自然科学・情報技術に関する基礎的素養を有し、それぞれの専門分野での問題解決のためにそれらを駆使できる能力を身につける。
  - (C-2) それぞれの専門分野に関する深い学問的知識と実験・実習で得た多くの経験を持ち、それらを問題解決のために応用できる能力を身につける。

- (C-3) 長期的視点に立ち、計画的に継続して自らの能力を向上させようとする習慣とそれを実現する能力を身につける。
- (D) 自分の考えを論理的に文章化する確かな記述力、国際的に通用するコミュニケーション基礎能力、プレゼンテーション能力を身につける。

専攻科の技術者育成の目標との対比は次のようになります。

専攻科の目標		「地域環境デザイン工学」教育プログラムの学習・教育目標
①		A、B
②	②-1 ②-2	B、C、D
③		A、D

これらの学習・教育目標を達成するために、それぞれ細かく授業科目が設計されています。次ページ以降の資料を参照して、履修してください。

### (3) 「地域環境デザイン工学」教育プログラムの修了要件

「地域環境デザイン工学」プログラムの修了生は、以下の要件を全て満たさなければなりません。学習時間については、次ページ以降の資料を参照して、履修してください。

- (1) 専攻科の教育課程を修了していること。
- (2) 学士の学位を取得していること。
- (3) 本教育プログラムにおいて124単位以上修得していること。
- (4) 別に定める達成度評価基準に合格していること（表2参照）。



表2 学習教育目標とその評価方法（知能機械工学科ーメカトロニクス工学専攻、平成31年度修了生用）

学習・教育目標	関連する基準1(2)と基準2.1の項目	評価方法	備考
(A) 和歌山県の地域環境，地域社会との共生に関する理解および倫理観を身につけ，公共の安全や利益に配慮したものづくりの考え方を理解し説明できる。	(a)	日本経済論、地域と文化（本科）、現代アジア論（専攻科） 上記科目よりのうち1単位以上修得を義務づける。 各科目の修得条件はシラバスに記載	
	(b)	企業実践講座、知的財産権（本科）、技術者倫理、環境アセスメント（専攻科） 上記の科目より2単位以上の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載。	
(B) 社会のニーズおよび環境に配慮し、かつ与えられた制約下で、工学の基礎的な知識・技術を統合して課題を解決するデザイン能力を身につける。	(d2)(d3) (e) (h) (i)	機械工学実験、卒業研究（本科）、工学特別実験、特別研究Ⅰ・Ⅱ（専攻科）、創造プログラミング（専攻科選択） 上記の科目より31単位以上の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載。	
(C) 自主的・継続的な学習を通じて、自己の専門分野での深い学問的知識や経験に加え、他分野にまたがる幅広い知識を身につける。	(C-1) 自然科学・情報技術に関する基礎的素養を有し、それぞれの専門分野での問題解決のためにそれらを駆使できる能力を身につける。	(c)	情報処理、応用数学、応用物理、情報工学（本科）数理工学、数理統計学、数値計算・解析法、量子力学、線形代数、物性物理、環境マネジメント（専攻科） 上記の科目より8単位以上の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載。
	(C-2) それぞれの専門分野に関する深い学問的知識と実験・実習で得た多くの経験を持ち、それらを問題解決のために応用できる能力を身につける。	(d1) (d4)	各専門分野で指定された科目群より10単位以上修得のこと。各専門分野の科目群は別に記す。 修得条件はシラバスに記載。
	(C-3) 長期的視点に立ち、計画的に継続して自らの能力を向上させようとする習慣とそれを実現する能力を身につける。	(g)	
(D) 自分の考えを論理的に文章化する確かな記述力、国際的に通用するコミュニケーション基礎能力、プレゼンテーション能力を身につける。	(f)	卒業研究（本科）、特別研究Ⅰ・Ⅱ（専攻科） 上記の科目の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載。	
	(f)	英語、英語A、英語B、工業外国語（本科）時事英語、実用英会話、ビジネスコミュニケーション、テクニカルライティング、工学特別ゼミナール（専攻科） 上記の科目のうち8単位の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載。	

C-1 (2.1) に相当する科目

知能機械工学科、メカトロニクス専攻	①設計・システム系科目群 ②情報・論理系科目群 ③材料・バイオ系科目群 ④力学系科目群 ⑤社会技術系科目群	機械設計製図、機械設計法、機械システム工学（本科必修）、工作機械、エネルギー工学（本科選択） 電子制御、自動制御（本科必修）、計測工学（本科選択）、情報理論（専攻科選択） 材料学（本科必修）、材料強度学（本科選択） 材料力学、工業熱力学、流体力学、振動力学（本科必修）、材料力学特論、流体工学（本科選択） 熱流体工学（専攻科選択） 環境福祉工学、メカトロニクス設計、生産工学概論、デザイン工学（本科選択）、生産工学、環境化学工学、環境分析、センサー工学（専攻科選択）
-------------------	---	--

C-2 (d1, d4)、C-3 (g)に相当する科目

知能機械工学科、メカトロニクス専攻	学外実習（本科選択） 工学特別ゼミナール（専攻科必修）、パワーエレクトロニクス特論、精密加工学、信号処理理論、材料科学、応用電子回路、情報伝送工学、機能材料学、応用エネルギー工学、計測制御工学、インターンシップ、ロボット工学（専攻科選択）
-------------------	--

学習目標に対する単位の換算表および履修確認表 平成31年度修了生用

メカトロニクス工学専攻  
(知能機械→メカ)

							学籍番号										
							氏名										
学習教育目標	系	科目	学年	必・選	単位	関連する基準1	履修要件	必要単位数	単位	評価							
(A) 和歌山県の地域環境、地域社会との共生に関する理解および倫理観を身につけ、公共の安全や利益に配慮したもののづくりの考え方を理解し説明できる。		日本経済論	本4年	必修	1	(a)	日本経済論、地域と文化(本科)、現代アジア論(専攻科) 上記科目よりのうち1単位以上修得を義務づける。 各科目の修得条件はシラバスに記載する	1									
		地域と文化 I	本5年	選択	1												
		地域と文化 II	本5年	選択	1												
		地域と文化 III	本5年	選択	1												
		地域と文化 IV	本5年	選択	1												
		現代アジア論	専2年	選択	2												
	小計																
	企業実践講座					本4年	選択	1	(b)	企業実践講座、知的財産権(本科)、技術者倫理、環境アセスメント、環境マネジメント(専攻科) 上記の科目より2単位以上の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載する。	2						
	知的財産権					本5年	必修	1									
	環境アセスメント					専1年	必修	2									
	技術者倫理					専2年	必修	2									
	環境マネジメント					専2年	選択	2									
	小計																
	(B) 社会のニーズおよび地球環境に配慮し、かつ与えられた制約下で、工学の基礎的な知識・技術を統合して課題を解決するデザイン能力を身につける。		機械工学実験	本4年	必修	3	(d2_b) (d2_c) (e) (h) (i)	工学実験、卒業研究(本科)、工学特別実験、特別研究 I・II(専攻科) 創造プログラミング 上記の科目より31単位以上の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載。	31								
機械工学実験			本5年	必修	1.5												
卒業研究			本5年	必修	8.5												
工学特別実験			専1年	必修	4												
特別研究 I			専1年	必修	4												
特別研究 II			専2年	必修	10												
創造プログラミング			専2年	選択	2												
小計																	
(C) 自主的・継続的な学習を通じて、自己の専門分野で深い学問的知識や経験に加え、他分野にまたがる幅広い知識を身につける。			(C-1) 自然科学・情報技術に関する基礎的素養を有し、それぞれの専門分野での問題解決のためにそれらを駆使できる能力を身につける。	情報処理	本4年	必修						2	(c)	情報処理、応用数学、応用物理(本科) 数理工学、数理統計学、数値計算・解析法、量子力学、物性物理、線形代数(専攻科) 上記の科目より8単位以上の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載する。	8		
				応用数学	本4年	必修						2					
	応用数学(学修単位)	本5年		必修	2												
	応用物理	本4年		必修	2												
	数理工学	専1年		選択	2												
	数理統計学	専1年		選択	2												
	数値計算・解析法	専1年		選択	2												
	量子力学	専1年		選択	2												
	物性物理	専2年		選択	2												
	線形代数	専1年		選択	2												
	小計																
	設計・システム系	機械設計法		本4年	必修	1	(2.1)①	設計・システム系、情報理論系、材料・バイオ系、力学系、および社会技術系の科目群より、各系1科目合計6科目以上の単位を取得することを義務づける。 修得条件はシラバスに記載する。	5								
		機械設計製図		本4年	必修	2											
		工作機械		本4年	選択	1											
機械システム工学(学修単位)		本5年	必修	2													
エネルギー工学(学修単位)		本5年	選択	2													
小計																	
情報理論系	電子制御 II	本4年	必修	2	(2.1)②	設計・システム系、情報理論系、材料・バイオ系、力学系、および社会技術系の科目群より、各系1科目合計6科目以上の単位を取得することを義務づける。 修得条件はシラバスに記載する。	6										
	自動制御	本4年	必修	2													
	計測工学	本4年	選択	1													
	電子制御 III	本5年	必修	1													
情報工学(学修単位)					本5年	選択	2										
情報理論					専1年	選択	2										
小計																	
材料・バイオ系	材料科学	本4年	必修	1	(2.1)③	設計・システム系、情報理論系、材料・バイオ系、力学系、および社会技術系の科目群より、各系1科目合計6科目以上の単位を取得することを義務づける。 修得条件はシラバスに記載する。	1										
	材料強度学(学修単位)	本5年	選択	2													
	小計																
力学系	材料力学	本4年	必修	2	(2.1)④	設計・システム系、情報理論系、材料・バイオ系、力学系、および社会技術系の科目群より、各系1科目合計6科目以上の単位を取得することを義務づける。 修得条件はシラバスに記載する。	7										
	工業熱力学	本4年	必修	2													
	流体力学	本4年	必修	2													
	振動工学	本5年	必修	1													
	材料力学特論	本5年	選択	1													
	流体工学(学修単位)	本5年	選択	2													
熱流体工学	専2年	選択	2														
小計																	
社会技術系	環境・福祉工学	本4年	選択	2	(2.1)⑤	設計・システム系、情報理論系、材料・バイオ系、力学系、および社会技術系の科目群より、各系1科目合計6科目以上の単位を取得することを義務づける。 修得条件はシラバスに記載する。	2										
	メカトロニクス設計(学修単位)	本5年	選択	2													
	生産工学概論(学修単位)	本5年	選択	2													
	環境分析	専1年	選択	2													
	デザイン工学(学修単位)	本5年	選択	2													
	生産工学	専1年	選択	2													
	環境化学工学	専1年	選択	2													
	センサー工学	専1年	選択	2													
小計																	
(C-2) それぞれの専門分野に関する深い学問的知識と実験・実習で得た多くの経験を持ち、それらに問題解決のために応用できる能力を身につける。	(d1) (d4) (g)	パワーエレクトロニクス特論	専1年	選択	2	(d1) (d4) (g)	各専門分野で指定された科目群より10単位以上修得のこと。各専門分野の修得条件はシラバスに記載する。	10									
		精密加工工学	専1年	選択	2												
		信号処理理論	専1年	選択	2												
		材料科学	専1年	選択	2												
		応用電子回路	専2年	選択	2												
		情報伝送工学	専2年	選択	2												
		機能材料学	専2年	選択	2												
		小計															
		(C-3) 長期的視点に立ち、計画的に継続して自らの能力を向上させようとする習慣とそれを実現する能力を身につける。	応用エネルギー工学	専1年	選択						2	(d1) (d4) (g)	各専門分野で指定された科目群より10単位以上修得のこと。各専門分野の修得条件はシラバスに記載する。	10			
			計測制御工学	専1年	選択						2						
学外実習	本4年		選択	1													
インターンシップ	専1年		選択	2													
工学特別ゼミナール(1年次)	専1年		必修	2													
工学特別ゼミナール(2年次)	専2年		必修	2													
ロボット工学	専2年		選択	2													
小計																	
(D) 自分の考えを論理的に文章化する確かな記述力、国際的に通用するコミュニケーション基礎能力、プレゼンテーション能力を身につける。		卒業研究	本5年	必修	8.5	(f)	卒業研究(本科)、特別研究 I・II(専攻科) 上記の科目の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載する。	22.5									
		特別研究 I	専1年	必修	4												
		特別研究 II	専2年	必修	10												
		小計															
		英語	本4年	必修	2	(f)	英語、英語A、英語B、工業外国語(本科)時事英語、実用英会話、テクニカルライティング、ビジネスコミュニケーション、工学特別ゼミナール(専攻科) 上記の科目のうち8単位の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載する。	8									
		英語A	本5年	選択	2												
		英語B	本5年	選択	2												
		工業外国語	本4年	必修	1												
		時事英語	専1年	必修	2												
		実用英会話	専1年	必修	2												
		ビジネスコミュニケーション	専1年	選択	2												
		テクニカルライティング	専1年	選択	2												
		工学特別ゼミナール(1年次)	専1年	必修	2												
		工学特別ゼミナール(2年次)	専2年	必修	2												

表2 学習教育目標とその評価方法（知能機械工学科ーメカトロニクス工学専攻、平成32年度修了生用）

学習・教育目標	関連する基準1(2)と基準2.1の項目	評価方法	備考
(A) 和歌山県の地域環境，地域社会との共生に関する理解および倫理観を身につけ，公共の安全や利益に配慮したものづくりの考え方を理解し説明できる。	(a)  (b)	日本経済論、地域と文化（本科）、現代アジア論（専攻科） 上記科目よりのうち1単位以上修得を義務づける。 各科目の修得条件はシラバスに記載  企業実践講座、知的財産権（本科）、技術者倫理、環境アセスメント（専攻科） 上記の科目より2単位以上の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載。	
(B) 社会のニーズおよび環境に配慮し、かつ与えられた制約下で、工学の基礎的な知識・技術を統合して課題を解決するデザイン能力を身につける。	(d2)(d3) (e) (h) (i)	機械工学実験、卒業研究（本科）、工学特別実験、特別研究Ⅰ・Ⅱ（専攻科）、創造プログラミング（専攻科選択） 上記の科目より31単位以上の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載。	
(C) 自主的・継続的な学習を通じて、自己の専門分野での深い学問的知識や経験に加え、他分野にまたがる幅広い知識を身につける。	(C-1) 自然科学・情報技術に関する基礎的素養を有し、それぞれの専門分野での問題解決のためにそれらを駆使できる能力を身につける。	(c)	情報処理、応用数学、応用物理、情報工学（本科）、数理工学、数理統計学、数値計算・解析法、量子力学、線形代数、物性物理、環境マネジメント（専攻科） 上記の科目より8単位以上の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載。
	(C-2) それぞれの専門分野に関する深い学問的知識と実験・実習で得た多くの経験を持ち、それらを問題解決のために応用できる能力を身につける。	(d1) (d4)	設計・システム系、情報論理系、材料・バイオ系、力学系、および社会技術系の科目群より、各系1科目合計6科目以上の単位を取得することを義務づける。 各系の科目群は別に記す。 修得条件はシラバスに記載。
	(C-3) 長期的視点に立ち、計画的に継続して自らの能力を向上させようとする習慣とそれを実現する能力を身につける。	(g)	各専門分野で指定された科目群より10単位以上修得のこと。各専門分野の科目群は別に記す。 修得条件はシラバスに記載。
(D) 自分の考えを論理的に文章化する確かな記述力、国際的に通用するコミュニケーション基礎能力、プレゼンテーション能力を身につける。	(f)	卒業研究（本科）、特別研究Ⅰ・Ⅱ（専攻科） 上記の科目の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載。	
	(f)	英語、英語A、英語B、工業外国語（本科）時事英語、実用英会話、ビジネスコミュニケーション、テクニカルライティング、工学特別ゼミナール（専攻科） 上記の科目のうち8単位の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載。	

C-1 (2.1) に相当する科目

知能機械工学科、メカトロニクス専攻	①設計・システム系科目群 ②情報・論理系科目群 ③材料・バイオ系科目群 ④力学系科目群 ⑤社会技術系科目群	機械設計製図、機械設計法、機械システム工学（本科必修）、工作機械、エネルギー工学（本科選択） 電子制御、自動制御（本科必修）、計測工学（本科選択）、情報理論（専攻科選択） 材料学（本科必修）、材料強度学（本科選択） 材料力学、工業熱力学、流体力学、振動力学（本科必修）、材料力学特論、流体工学（本科選択） 熱流体工学（専攻科選択） 環境福祉工学、メカトロニクス設計、生産工学概論、デザイン工学（本科選択）、生産工学、環境化学工学、環境分析、センサー工学（専攻科選択）
-------------------	---	--

C-2 (d1、d4)、C-3 (g)に相当する科目

知能機械工学科、メカトロニクス専攻	学外実習（本科選択） 工学特別ゼミナール（専攻科必修）、パワーエレクトロニクス特論、精密加工学、信号処理理論、材料科学、応用電子回路、情報伝送工学、機能材料学、応用エネルギー工学、計測制御工学、インターンシップ、ロボット工学（専攻科選択）
-------------------	--

学習目標に対する単位の換算表および履修確認表 平成32年度修了生用

メカトロニクス工学専攻  
(知能機械→メカ)

(評価点を記入)

学習教育目標	系	科目	学年	必・選	単位	関連する基準1	履修要件	必要単位数	単位	評価							
(A) 和歌山県の地域環境、地域社会との共生に関する理解および倫理観を身につけ、公共の安全や利益に配慮したもののづくりの考え方を理解し説明できる。		日本経済論	本4年	必修	1	(a)	日本経済論、地域と文化、保健体育(本科)、現代アジア論(専攻科) 上記科目より1単位以上修得を義務づける。 各科目の修得条件はシラバスに記載する。	1	0								
		地域と文化 I	本5年	選択	1												
		地域と文化 II	本5年	選択	1												
		地域と文化 III	本5年	選択	1												
		地域と文化 IV	本5年	選択	1												
		現代アジア論	専2年	選択	2												
		保健・体育	本4年	必修	2												
		保健・体育	本5年	必修	1												
		保健・体育A	本5年	選択	1												
		小計															
		企業実践講座	本4年	選択	1						(b)	企業実践講座、ベンチャー講座、知的財産権(本科)、技術者倫理、環境アセスメント(専攻科) 上記の科目より2単位以上の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載する。	2	0			
		ベンチャー講座(学修単位)	本4年	選択	1												
		知的財産権	本5年	選択	1												
		環境アセスメント	専1年	選択	2												
技術者倫理	専2年	必修	2														
小計																	
(B) 社会のニーズおよび環境に配慮し、かつ与えられた制約下で、工学の基礎的な知識・技術を統合して課題を解決するデザイン能力を身に付ける。		機械工学実験	本4年	必修	3	(d2) (d3) (e) (h) (i)	工学実験、卒業研究(本科)、工学特別実験、特別研究、創造プログラミング(専攻科) 上記の科目より31単位以上の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載。	31	0								
		機械工学実験	本5年	必修	1.5												
		卒業研究	本5年	必修	8.5												
		工学特別実験	専1年	必修	4												
		特別研究 I	専1年	必修	4												
		特別研究 II	専2年	必修	10												
		創造プログラミング	専2年	選択	2												
		小計															
		(C) 自主的・継続的な学習を通じて、自己の専門分野で深い学問的知識や経験に加え、他分野にまたがる幅広い知識を身に付ける。	(C-1) 自然科学・情報技術に関する基礎的素養を有し、それぞれの専門分野での問題解決のためにそれらを駆使できる能力を身につける。	情報処理	本4年						必修	2	(c)	情報処理、応用数学、応用物理(本科)、数理工学、数理統計学、数値計算・解析法、量子力学、物性物理、線形代数、環境マネジメント(専攻科) 上記の科目より8単位以上の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載する。	8	0	
				応用数学	本4年						必修	2					
応用数学(学修単位)	本5年			必修	2												
応用物理	本4年			必修	2												
数理工学	専1年			選択	2												
数理統計学	専2年			選択	2												
数値計算・解析法	専1年			選択	2												
量子力学	専1年			選択	2												
物性物理	専2年			選択	2												
線形代数	専1年			選択	2												
環境マネジメント	専2年	選択	2														
小計																	
(C-2) それぞれの専門分野に関する深い学問的知識と実験・実習で得た多くの経験を持ち、それらを問題解決のために応用できる能力を身につける。	(C-3) 長期的視点に立ち、計画的に継続して自らの能力を向上させようとする習慣とそれを実現する能力を身につける。	設計・システム系	本4年	必修	1	(2.1)①	設計・システム系、情報論理系、材料・バイオ系、力学系、および社会技術系の科目群より、各系1科目合計6科目以上の単位を取得することを義務づける。 修得条件はシラバスに記載する。	5	0								
		機械設計法	本4年	必修	2												
		機械設計製図	本4年	必修	1												
		工作機械	本4年	選択	1												
		機械システム工学(学修単位)	本5年	必修	2												
		エネルギー工学(学修単位)	本5年	選択	2												
		小計															
		情報論理系	本4年	必修	2	(2.1)②											
		電子制御 II	本4年	必修	2												
		自動制御	本4年	必修	2												
計測工学	本4年	選択	1														
電子制御 III	本5年	必修	1														
情報工学(学修単位)	本5年	選択	2														
情報理論	専1年	選択	2														
小計																	
材料・バイオ系	本4年	必修	1	(2.1)③													
材料強度学(学修単位)	本5年	選択	2														
小計																	
力学系	本4年	必修	2	(2.1)④													
材料力学	本4年	必修	2														
工業熱力学	本4年	必修	2														
流体力学	本4年	必修	2														
振動工学	本5年	必修	1														
材料力学特論	本5年	選択	1														
流体工学(学修単位)	本5年	選択	2														
熱流体工学	専2年	選択	2														
小計																	
社会技術系	本4年	選択	2	(2.1)⑤													
環境・福祉工学	本4年	選択	2														
メカトロニクス設計(学修単位)	本5年	必修	2														
生産工学概論(学修単位)	本5年	選択	2														
環境分析	専1年	選択	2														
デザイン工学(学修単位)	本5年	選択	2														
生産工学	専1年	選択	2														
環境化学工学	専1年	選択	2														
センサー工学	専1年	選択	2														
小計																	
電力・電子工学系	専1年	選択	2	(d1) (d4) (g)	各専門分野で指定された科目群より10単位以上修得のこと。各専門分野の修得条件はシラバスに記載する。	10	0										
精密加工工学	専1年	選択	2														
信号処理理論	専1年	選択	2														
材料科学	専1年	選択	2														
応用電子回路	専2年	選択	2														
情報伝送工学	専2年	選択	2														
機能材料学	専2年	選択	2														
小計																	
応用エネルギー工学	専1年	選択	2														
計測制御工学	専1年	選択	2														
学外実習	本4年	選択	1														
県内インターンシップ	本4年	選択	2														
インターンシップ	専1,2年	選択	2														
工学特別ゼミナール(1年次)	専1年	必修	2														
工学特別ゼミナール(2年次)	専2年	必修	2														
ロボット工学	専2年	選択	2														
小計																	
(D) 自分の考えを論理的に文章化する確かな記述力、国際的に通用するコミュニケーション基礎能力、プレゼンテーション能力を身につける。		卒業研究	本5年	必修	8.5	(f)	卒業研究(本科)、特別研究(専攻科) 上記の科目の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載する。	22.5	0								
		特別研究 I	専1年	必修	4												
		特別研究 II	専2年	必修	10												
		小計															
		英語	本4年	必修	2	(f)					英語、英語A、英語B、工業外国語、第2外国語(本科)、時事英語、実用英会話、テクニカルライティング、ビジネスコミュニケーション、工学特別ゼミナール(専攻科) 上記の科目のうち8単位の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載する。	8	0				
		英語A	本5年	選択	2												
		英語B	本5年	選択	2												
		工業外国語	本4年	必修	1												
		時事英語	専1年	必修	2												
		実用英会話	専1年	必修	2												
		ビジネスコミュニケーション	専1年	選択	2												
		テクニカルライティング	専1年	選択	2												
		工学特別ゼミナール(1年次)	専1年	必修	2												
		工学特別ゼミナール(2年次)	専2年	必修	2												
第2外国語A I(ドイツ語)	本4年	選択	3														
第2外国語B I(フランス語)	本4年	選択	3														
第2外国語C I(中国語)	本4年	選択	3														
第2外国語A II(ドイツ語)	本5年	選択	2														
第2外国語B II(フランス語)	本5年	選択	2														
第2外国語C II(中国語)	本5年	選択	2														
海外異文化交流(留学)	本4,5年	選択	1														
小計																	

修得単位数 0

表2 学習教育目標とその評価方法（電気情報工学科ーメカトロニクス工学専攻、平成31年度修了生用）

学習・教育目標	関連する基準1(2)と基準2.1の項目	評価方法	備考	
(A) 和歌山県の地域環境，地域社会との共生に関する理解および倫理観を身につけ，公共の安全や利益に配慮したものづくりの考え方を理解し説明できる。	(a)  (b)	日本経済論、地域と文化（本科）、現代アジア論（専攻科） 上記科目よりのうち1単位以上修得を義務づける。 各科目の修得条件はシラバスに記載  企業実践講座、知的財産権（本科）、技術者倫理、環境アセスメント（専攻科） 上記の科目より2単位以上の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載。		
(B) 社会のニーズおよび環境に配慮し、かつ与えられた制約下で、工学の基礎的な知識・技術を統合して課題を解決するデザイン能力を身につける。	(d2)(d3) (e) (h) (i)	電気情報工学実験、卒業研究（本科）、工学特別実験、特別研究Ⅰ・Ⅱ、創造プログラミング（専攻科） 上記の科目より創造プログラミングを除いた30単位以上の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載。		
(C) 自主的・継続的な学習を通じて、自己の専門分野での深い学問的知識や経験に加え、他分野にまたがる幅広い知識を身につける。	(C-1) 自然科学・情報技術に関する基礎的素養を有し、それぞれの専門分野での問題解決のためにそれらを駆使できる能力を身につける。	(c)  (2.1)	応用数学、電気磁気学、数値解析、情報通信、電子工学、応用物理、情報科学、情報セキュリティ、マルチメディア工学（本科）、数理工学、数理統計学、数値計算・解析法、量子力学、線形代数、物性物理、環境マネジメント（専攻科） 上記の科目より8単位以上の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載。  設計・システム系、情報論理系、材料・バイオ系、力学系、および社会技術系の科目群より、各系1科目合計6科目以上の単位を取得することを義務づける。 各系の科目群は別に記す。 修得条件はシラバスに記載。	
	(C-2) それぞれの専門分野に関する深い学問的知識と実験・実習で得た多くの経験を持ち、それらを問題解決のために応用できる能力を身につける。	(d1) (d4)		各専門分野で指定された科目群より10単位以上修得のこと。各専門分野の科目群は別に記す。 修得条件はシラバスに記載。
	(C-3) 長期的視点に立ち、計画的に継続して自らの能力を向上させようとする習慣とそれを実現する能力を身につける。	(g)		
(D) 自分の考えを論理的に文章化する確かな記述力、国際的に通用するコミュニケーション基礎能力、プレゼンテーション能力を身につける。	(f)  (f)	卒業研究（本科）、特別研究Ⅰ、特別研究Ⅱ（専攻科） 上記の科目の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載。  英語、工業外国語、英語A、英語B（本科）、時事英語、実用英会話、テクニカルライティング、工学特別ゼミナール、ビジネスコミュニケーション（専攻科） 上記の科目のうち8単位以上の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載。		

C-1 (2.1) に相当する科目

電気情報工学科、 メカトロニクス専攻	①設計・システム系科目群 ②情報・論理系科目群 ③材料・バイオ系科目群 ④力学系科目群 ⑤社会技術系科目群	電子回路(本科必修)、電子デバイス、送配電工学、発変電工学、自動制御、IC 応用回路、光エレクトロニクス、回路網理論、電気製図、電気設計、パワーエレクトロニクス、高電圧工学(本科選択) システム設計、コンピュータグラフィックス、オペレーティングシステム、データベース論 (本科選択)、情報理論(専攻科選択) 電気材料、電子工学Ⅱ(本科必修) メカトロニクス(本科選択)、熱流体工学(専攻科選択) 実験計画法、電気エネルギー、電気法規・電気施設管理(本科選択)、環境化学工学、環境分析、生産工学、センサー工学 (専攻科選択)
-----------------------	---	---

C-2 (d1、d4)、C-3 (g)に相当する科目

電気情報工学科、メカトロニクス専攻	精密加工学、信号処理理論、材料科学、パワーエレクトロニクス特論、機能材料学、情報伝送工学、応用電子回路（専攻科選択） 工学特別ゼミナール（専攻科必修）、応用エネルギー工学、計測制御工学、学外実習、インターンシップ、ロボット工学（専攻科選択）
-------------------	---

学習目標に対する単位の換算表および履修確認表 平成31年度修了生用  
メカトロニクス工学専攻  
(電気→メカ)

学籍番号  
氏名

学習教育目標	系	科目	学年	必・選	単位	関連する基準1	履修要件	必要単位数									
								単位	評価								
(A) 和歌山県の地域環境、地域社会との共生に関する理解および倫理観を身につけ、公共の安全や利益に配慮したもののづくりの考え方を理解し説明できる。		日本経済論	本4年	必修	1	(a)	日本経済論、地域と文化(本科)、現代アジア論(専攻科) 上記科目よりのうち1単位以上修得を義務づける。 各科目の修得条件はシラバスに記載	1									
		地域と文化Ⅰ	本5年	選択	1												
		地域と文化Ⅱ	本5年	選択	1												
		地域と文化Ⅲ	本5年	選択	1												
		地域と文化Ⅳ	本5年	選択	1												
		現代アジア論	専2年	選択	2												
		小計															
		企業実践講座	本4年	選択	1						(b)	企業実践講座、知的財産権(本科)、環境アセスメント、技術者倫理(専攻科) 上記の科目より2単位以上の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載。	2				
		知的財産権	本5年	選択	1												
		環境アセスメント	専1年	選択	2												
技術者倫理	専2年	必修	2														
小計																	
(B) 社会のニーズおよび環境に配慮し、かつ与えられた制約下で、工学の基礎的な知識・技術を統合してかたいを解決するデザイン能力を身につけている。		電気情報工学実験	本4年	必修	3	(d2) (d3) (e) (h) (i)	電気情報工学実験、卒業研究(本科)、工学特別実験、特別研究Ⅰ・Ⅱ、創造プログラミング(専攻科) 上記の科目より創造プログラミングを除く30単位以上の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載。	30	1								
		電気情報工学実験	本5年	必修	2												
		卒業研究	本5年	必修	10												
		工学特別実験	専1年	必修	4												
		特別研究Ⅰ	専1年	必修	4												
		特別研究Ⅱ	専2年	必修	10												
		創造プログラミング	専2年	選択	2												
		小計															
		(C) 自主的・継続的な学習を通じて、自己の専門分野で深い学問的知識や経験に加え、他分野にまたがる幅広い知識を身につける。	(C-1) 自然科学・情報技術に関する基礎的素養を有し、それぞれの専門分野での問題解決のためにそれらを駆使できる能力を身につける。	応用数学Ⅰ(学修単位)	本4年						必修	2	(c)	応用数学Ⅰ、電気磁気学Ⅲ、応用数学Ⅱ、数値解析、情報通信Ⅱ、数学特論Ⅰ、数学特論Ⅱ、応用物理、情報科学、情報セキュリティ、メディア情報工学(本科)、理工学、数理統計学、数値計算・解析法、量子力学、線形代数、物性物理、環境マネジメント 上記の科目より8単位以上の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載。	8		
				電気磁気学Ⅲ	本4年						必修	2					
応用数学Ⅱ	本4年			必修	2												
数値解析(学修単位)	本4年			選択	2												
情報通信Ⅱ	本4年			選択	1												
数学特論Ⅰ	本4年			選択	1												
数学特論Ⅱ	本4年			選択	1												
応用物理	本4年			選択	2												
情報科学(学修単位)	本5年			選択	2												
情報セキュリティ(学修単位)	本5年			選択	1												
メディア情報工学(学修単位)	本5年			選択	1												
理工学	専1年			選択	2												
数理統計学	専1年			選択	2												
数値計算・解析法	専1年			選択	2												
量子力学	専1年			選択	2												
線形代数	専1年		選択	2													
物性物理	専2年		選択	2													
環境マネジメント	専2年		選択	2													
小計																	
設計・システム系	電子回路(学修単位)		本4年	必修	2	(2.1)①	設計・システム系、情報論系、材料・バイオ系、力学系、および社会技術系の科目群より、各系1科目合計6科目以上の単位を取得することを義務づける。 各系の科目群は別に記す。 修得条件はシラバスに記載。	1									
	電子デバイス		本4年	選択	1												
	送配電工学(学修単位)		本4年	選択	2												
	発変電工学(学修単位)		本4年	選択	2												
	自動制御(学修単位)		本5年	選択	2												
	IC応用回路(学修単位)		本5年	選択	1												
	応用電子工学(学修単位)	本5年	選択	1													
	回路網理論(学修単位)	本4年	選択	2													
	電気製図	本5年	選択	1													
	電気設計	本5年	選択	2													
パワーエレクトロニクス(学修単位)	本5年	選択	1														
高電圧工学	本5年	選択	1														
小計																	
情報論系	システム設計(学修単位)	本4年	選択	2	(2.1)②	設計・システム系、情報論系、材料・バイオ系、力学系、および社会技術系の科目群より、各系1科目合計6科目以上の単位を取得することを義務づける。 各系の科目群は別に記す。 修得条件はシラバスに記載。	1										
	コンピュータグラフィックス(学修単位)	本5年	選択	1													
	オペレーティングシステム(学修単位)	本5年	選択	1													
	データベース論(学修単位)	本4年	選択	1													
情報理論	専1年	選択	2														
小計																	
材料・バイオ系	電気材料(学修単位)	本4年	必修	2	(2.1)③		2										
	電子工学Ⅱ(学修単位)	本4年	必修	2													
小計																	
力学系	メカトロニクス(学修単位)	本4年	選択	2	(2.1)④		2										
	熱流体工学	専2年	選択	2													
小計																	
社会技術系	実験計画法	本5年	選択	1	(2.1)⑤		1										
	電気エネルギー	本5年	選択	1													
	電気法規・電気施設管理	本5年	選択	1													
	環境化学工学	専1年	選択	2													
	環境分析	専1年	選択	2													
	生産工学	専1年	選択	2													
	センサー工学	専1年	選択	2													
	小計																
(C-2) それぞれの専門分野に関する深い学問的知識と実験・実習で得た多くの経験を持ち、それらを問題解決のために応用できる能力を身につける。 (C-3) 長期的視点に立ち、計画的に継続して自らの能力を向上させようとする習慣とそれを実現する能力を身につける。	精密加工工学	専1年	選択	2	(d1) (d4) (g)	各専門分野で指定された科目群より10単位以上修得のこと。 各専門分野の科目群は別に記す。修得条件はシラバスに記載。	10										
	信号処理理論	専1年	選択	2													
	材料科学	専1年	選択	2													
	パワーエレクトロニクス特論	専1年	選択	2													
	機能材料科学	専2年	選択	2													
	情報伝送工学	専2年	選択	2													
	応用電子回路	専2年	選択	2													
	ロボット工学基礎(学修単位)	本5年	選択	1													
	応用エネルギー工学	専1年	選択	2													
	計測制御工学	専1年	選択	2													
	学外実習	本4年	選択	1													
	インターンシップ	専1年	選択	2													
	工学特別ゼミナール(1年次)	専1年	必修	2													
	工学特別ゼミナール(2年次)	専2年	必修	2													
	ロボット工学	専2年	選択	2													
小計																	
(D) 自分の考えを論理的に文章化する確かな記述力、国際的に通用するコミュニケーション基礎能力、プレゼンテーション能力を身につける。	卒業研究	本5年	必修	10	(f)	卒業研究(本科)、特別研究Ⅰ・Ⅱ(専攻科) 上記の科目の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載。	22										
	特別研究Ⅰ	専1年	必修	4													
	特別研究Ⅱ	専2年	必修	10													
	小計																
	英語	本4年	必修	2						(f)	英語、工業外国語、英語A、英語B(本科)、工学ゼミナール、時事英語、実用英会話、テクニカルライティング、ビジネスコミュニケーション、工学特別ゼミナール(専攻科) 上記の科目のうち8単位以上の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載。	8					
	工業外国語	本4年	必修	1													
	英語A	本5年	選択	2													
	英語B	本5年	選択	2													
	時事英語	専1年	必修	2													
	実用英会話	専1年	必修	2													
テクニカルライティング	専1年	選択	2														
ビジネスコミュニケーション	専1年	選択	2														
工学特別ゼミナール(1年次)	専1年	必修	2														
工学特別ゼミナール(2年次)	専2年	必修	2														
小計																	

表2 学習教育目標とその評価方法（電気情報工学科ーメカトロニクス工学専攻、平成32年度修了生用）

学習・教育目標	関連する基準1(2)と基準2.1の項目	評価方法	備考
(A) 和歌山県の地域環境，地域社会との共生に関する理解および倫理観を身につけ，公共の安全や利益に配慮したものづくりの考え方を理解し説明できる。	(a)  (b)	日本経済論、地域と文化（本科）、現代アジア論（専攻科） 上記科目よりのうち1単位以上修得を義務づける。 各科目の修得条件はシラバスに記載  企業実践講座、ベンチャー講座、知的財産権（本科）、技術者倫理、環境アセスメント（専攻科） 上記の科目より2単位以上の修得を義務づける。修得条件はシラバスに記載。	
(B) 社会のニーズおよび環境に配慮し、かつ与えられた制約下で、工学の基礎的な知識・技術を統合して課題を解決するデザイン能力を身につける。	(d2)(d3) (e) (h) (i)	電気情報工学実験、卒業研究（本科）、工学特別実験、特別研究Ⅰ・Ⅱ、創造プログラミング（専攻科） 上記の科目より創造プログラミングを除いた30単位以上の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載。	
(C) 自主的・継続的な学習を通じて、自己の専門分野での深い学問的知識や経験に加え、他分野にまたがる幅広い知識を身につける。	(C-1) 自然科学・情報技術に関する基礎的素養を有し、それぞれの専門分野での問題解決のためにそれらを駆使できる能力を身につける。	(c)	応用数学、電気磁気学、数値解析、情報通信、情報科学、情報セキュリティ、メディア情報工学（本科）、数理工学、数理統計学、数値計算・解析法、量子力学、線形代数、物性物理、環境マネジメント（専攻科） 上記の科目より8単位以上の修得を義務づける。修得条件はシラバスに記載。
	(C-2) それぞれの専門分野に関する深い学問的知識と実験・実習で得た多くの経験を持ち、それらを問題解決のために応用できる能力を身につける。	(2.1)	設計・システム系、情報論理系、材料・バイオ系、力学系、および社会技術系の科目群より、各系1科目合計6科目以上の単位を取得することを義務づける。 各系の科目群は別に記す。 修得条件はシラバスに記載。
	(C-3) 長期的視点に立ち、計画的に継続して自らの能力を向上させようとする習慣とそれを実現する能力を身につける。	(d1) (d4)  (g)	各専門分野で指定された科目群より10単位以上修得のこと。各専門分野の科目群は別に記す。 修得条件はシラバスに記載。
(D) 自分の考えを論理的に文章化する確かな記述力、国際的に通用するコミュニケーション基礎能力、プレゼンテーション能力を身につける。	(f)	卒業研究（本科）、特別研究Ⅰ、特別研究Ⅱ（専攻科） 上記の科目の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載。	
	(f)	英語、工業外国語、英語A、英語B、第2外国語、海外異文化交流（本科）、時事英語、実用英会話、テクニカルライティング <sup>※</sup> 、工学特別ゼミナール、ビジネスコミュニケーション（専攻科） 上記の科目のうち8単位以上の修得を義務づける。修得条件はシラバスに記載。	

C-1 (2.1) に相当する科目

電気情報工学科、メカトロニクス専攻	①設計・システム系科目群 ②情報・論理系科目群 ③材料・バイオ系科目群 ④力学系科目群 ⑤社会技術系科目群	電子回路Ⅱ、電子工学Ⅱ(本科必修)、送配電工学、発変電工学、自動制御、IC 応用回路、光エレクトロニクス、回路網理論、電気製図、電気設計、パワーエレクトロニクス、高電圧工学(本科選択)、システム設計、コンピュータグラフィックス、オペレーティングシステム、データベース論（本科選択）、情報理論(専攻科選択) 電気材料、電子工学Ⅰ(本科必修) メカトロニクス(本科選択)、熱流体工学(専攻科選択) 実験計画法、電気エネルギー、電気法規・電気施設管理(本科選択)、環境化学工学、環境分析、生産工学、センサー工学（専攻科選択）
-------------------	---	--

C-2 (d1、d4) 、C-3 (g)に相当する科目

電気情報工学科、メカトロニクス専攻	精密加工学、信号処理理論、材料科学、パワーエレクトロニクス特論、機能材料学、情報伝送工学、応用電子回路（専攻科選択） 工学特別ゼミナール（専攻科必修）、応用エネルギー工学、計測制御工学、学外実習、インターンシップ、ロボット工学（専攻科選択）
-------------------	---

学習教育目標	系	科目	学年	必・選	単位	関連する基準	履修要件	必要単位数	単位	評価														
(A) 和歌山県の地域環境、地域社会との共生に関する理解および倫理観を身につけ、公共の安全や利益に配慮したもののづくりの考え方を理解し説明できる。		日本経済論	本4年	必修	1	(a)	日本経済論、地域と文化、保健体育(本科)、現代アジア論(専攻科) 上記科目より1単位以上修得を義務づける。 各科目の修得条件はシラバスに記載	1	0															
		地域と文化Ⅰ	本5年	選択	1																			
		地域と文化Ⅱ	本5年	選択	1																			
		地域と文化Ⅲ	本5年	選択	1																			
		地域と文化Ⅳ	本5年	選択	1																			
		現代アジア論	専2年	選択	2																			
		保健・体育	本4年	必修	2																			
		保健・体育	本5年	必修	1																			
		保健・体育A	本5年	選択	1																			
		小計																						
		企業実践講座	本4年	選択	1																			
		ベンチャー講座(学修単位)	本4年	選択	1																			
		知的財産権	本5年	選択	1																			
		環境アセスメント	専1年	選択	2																			
技術者倫理	専2年	必修	2																					
小計																								
(B) 社会のニーズおよび環境に配慮し、かつ与えられた制約下で、工学の基礎的な知識・技術を統合して課題を解決するデザイン能力を身につけている。		電気情報工学実験	本4年	必修	3	(d2) (d3) (e) (h) (i)	電気情報工学実験、卒業研究(本科)、工学特別実験、特別研究、創造プログラミング(専攻科) 上記の科目より創造プログラミングを除く30単位以上の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載。	33	0															
		電気情報工学実験	本5年	必修	2																			
		卒業研究	本5年	必修	10																			
		工学特別実験	専1年	必修	4																			
		特別研究Ⅰ	専1年	必修	4																			
		特別研究Ⅱ	専2年	必修	10																			
		創造プログラミング	専2年	選択	2																			
		小計																						
		(C) 自主的・継続的な学習を通じて、自己の専門分野で深い学問的知識や経験に加え、他分野にまたがる幅広い知識を身に付ける。	(C-1) 自然科学・情報技術に関する基礎的素養を有し、それぞれの専門分野での問題解決のためにそれらを駆使できる能力を身につける。	応用数学Ⅰ(学修単位)	本4年						必修	2	(c)	応用数学Ⅰ、電気磁気学Ⅲ、応用数学Ⅱ、数値解析、情報通信、数学特論Ⅰ、数学特論Ⅱ、情報科学、情報セキュリティ、メディア情報工学(本科)、数理工学、数理統計学、数値計算・解析法、量子力学、線形代数、物性物理、環境マネジメント(専攻科) 上記の科目より8単位以上の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載。	8	0								
				電気磁気学Ⅲ	本4年						必修	2												
応用数学Ⅱ(学修単位)	本4年			必修	2																			
数値解析(学修単位)	本4年			選択	2																			
情報通信(学修単位)	本4年			選択	2																			
数学特論Ⅰ(学修単位)	本4年			選択	1																			
数学特論Ⅱ(学修単位)	本4年			選択	1																			
情報科学(学修単位)	本5年			選択	2																			
情報セキュリティ(学修単位)	本5年			選択	1																			
メディア情報工学(学修単位)	本5年			選択	1																			
小計																								
(C) 自主的・継続的な学習を通じて、自己の専門分野で深い学問的知識や経験に加え、他分野にまたがる幅広い知識を身に付ける。	設計・システム系	電子回路Ⅱ(学修単位)	本4年	必修	2	(2.1)①	設計・システム系、情報論系、材料・バイオ系、力学系、および社会技術系の科目群より、各系1科目合計6科目以上の単位を取得することを義務づける。 各系の科目群は別に記す。 修得条件はシラバスに記載。	1	0															
		電子工学Ⅱ(学修単位)	本4年	選択	2																			
		送配電工学(学修単位)	本4年	選択	2																			
		発変電工学(学修単位)	本4年	選択	2																			
		自動制御(学修単位)	本5年	選択	2																			
		IC応用回路(学修単位)	本5年	選択	1																			
		光エレクトロニクス(学修単位)	本5年	選択	1																			
		回路網理論(学修単位)	本4年	選択	2																			
		電気製図	本5年	選択	1																			
		電気設計	本5年	選択	2																			
パワーエレクトロニクス	本5年	選択	1																					
高電圧工学(学修単位)	本5年	選択	1																					
小計																								
(C) 自主的・継続的な学習を通じて、自己の専門分野で深い学問的知識や経験に加え、他分野にまたがる幅広い知識を身に付ける。	情報論系	システム設計(学修単位)	本4年	選択	2	(2.1)②	設計・システム系、情報論系、材料・バイオ系、力学系、および社会技術系の科目群より、各系1科目合計6科目以上の単位を取得することを義務づける。 各系の科目群は別に記す。 修得条件はシラバスに記載。	1	0															
		コンピュータグラフィックス(学修単位)	本5年	選択	1																			
		オペレーティングシステム(学修単位)	本5年	選択	1																			
		データベース論(学修単位)	本4年	選択	1																			
		情報理論	専1年	選択	2																			
		小計																						
		(C) 自主的・継続的な学習を通じて、自己の専門分野で深い学問的知識や経験に加え、他分野にまたがる幅広い知識を身に付ける。	材料・バイオ系	電気材料(学修単位)	本4年						必修	2	(2.1)③	設計・システム系、情報論系、材料・バイオ系、力学系、および社会技術系の科目群より、各系1科目合計6科目以上の単位を取得することを義務づける。 各系の科目群は別に記す。 修得条件はシラバスに記載。	2	0								
				電子工学Ⅰ(学修単位)	本4年						必修	2												
				小計																				
				(C) 自主的・継続的な学習を通じて、自己の専門分野で深い学問的知識や経験に加え、他分野にまたがる幅広い知識を身に付ける。	力学系						メカトロニクス	本4年						選択	2	(2.1)④	設計・システム系、情報論系、材料・バイオ系、力学系、および社会技術系の科目群より、各系1科目合計6科目以上の単位を取得することを義務づける。 各系の科目群は別に記す。 修得条件はシラバスに記載。	2	0	
熱流体工学	専2年					選択	2																	
小計																								
(C) 自主的・継続的な学習を通じて、自己の専門分野で深い学問的知識や経験に加え、他分野にまたがる幅広い知識を身に付ける。	社会技術系					実験計画法	本5年	選択	1	(2.1)⑤	設計・システム系、情報論系、材料・バイオ系、力学系、および社会技術系の科目群より、各系1科目合計6科目以上の単位を取得することを義務づける。 各系の科目群は別に記す。 修得条件はシラバスに記載。	1						0						
						電気エネルギー	本5年	選択	1															
						電気法規・電気施設管理	本5年	選択	1															
						環境化学工学	専1年	選択	2															
		環境分析	専1年			選択	2																	
		生産工学	専1年			選択	2																	
		センサー工学	専1年			選択	2																	
		小計																						
		(C) 自主的・継続的な学習を通じて、自己の専門分野で深い学問的知識や経験に加え、他分野にまたがる幅広い知識を身に付ける。	(C-2) それぞれの専門分野に関する深い学問的知識と実験・実習で得た多くの経験を持ち、それらを問題解決のために応用できる能力を身につける。	精密加工工学	専1年	選択	2	(d1) (d4) (g)	各専門分野で指定された科目群より10単位以上修得のこと。 各専門分野の科目群は別に記す。修得条件はシラバスに記載。				10	0										
				信号処理理論	専1年	選択	2																	
材料科学	専1年			選択	2																			
パワーエレクトロニクス特論	専1年			選択	2																			
機能材料学	専2年			選択	2																			
情報伝送工学	専2年			選択	2																			
応用電子回路	専2年			選択	2																			
ロボット工学基礎(学修単位)	本5年			選択	1																			
応用エネルギー工学	専1年			選択	2																			
計測制御工学	専1年			選択	2																			
(C) 自主的・継続的な学習を通じて、自己の専門分野で深い学問的知識や経験に加え、他分野にまたがる幅広い知識を身に付ける。	(C-3) 長期的視点に立ち、計画的に継続して自らの能力を向上させようとする習慣とそれを実現する能力を身につける。	学外実習	本4年	選択	1	(d1) (d4) (g)	各専門分野で指定された科目群より10単位以上修得のこと。 各専門分野の科目群は別に記す。修得条件はシラバスに記載。	10	0															
		県内インターンシップ	本4年	選択	2																			
		インターンシップ	専1,2年	選択	2																			
		工学特別ゼミナール(1年次)	専1年	必修	2																			
		工学特別ゼミナール(2年次)	専2年	必修	2																			
		ロボット工学	専2年	選択	2																			
		小計																						
		(D) 自分の考えを論理的に文章化する確かな記述力、国際的に通用するコミュニケーション基礎能力、プレゼンテーション能力を身につける。		卒業研究	本5年						必修	10	(f)	卒業研究(本科)、特別研究(専攻科) 上記の科目の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載。	24	0								
				特別研究Ⅰ	専1年						必修	4												
				特別研究Ⅱ	専2年						必修	10												
小計																								
(D) 自分の考えを論理的に文章化する確かな記述力、国際的に通用するコミュニケーション基礎能力、プレゼンテーション能力を身につける。				英語	本4年	必修	2	(f)	英語、工業外国語、英語A、英語B、第2外国語、海外異文化交流(本科)、時事英語、実用英会話、テクニカルライティング、ビジネスコミュニケーション、工学特別ゼミナール(専攻科) 上記の科目のうち8単位以上の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載。	8	0													
				工業外国語	本4年	必修	1																	
				工業外国語	本5年	必修	1																	
				英語A	本5年	選択	2																	
				英語B	本5年	選択	2																	
				時事英語	専1年	必修	2																	
		実用英会話	専1年	必修	2																			
		テクニカルライティング	専1年	選択	2																			
		ビジネスコミュニケーション	専1年	選択	2																			
		工学特別ゼミナール(1年次)	専1年	必修	2																			
工学特別ゼミナール(2年次)	専2年	必修	2																					
第2外国語AⅠ(ドイツ語)	本4年	選択	3																					
第2外国語BⅠ(フランス語)	本4年	選択	3																					
第2外国語CⅠ(中国語)	本4年	選択	3																					
第2外国語AⅡ(ドイツ語)	本5年	選択	2																					
第2外国語BⅡ(フランス語)	本5年	選択	2																					
第2外国語CⅡ(中国語)	本5年	選択	2																					
海外異文化交流(留学)	本4,5年	選択	1																					
小計																								



表2 学習教育目標とその評価方法 (物質工学科ーエコシステム工学専攻、平成31年度修了生用)

学習・教育目標	関連する基準1(2)と基準2.1の項目	評価方法	備考	
(A) 和歌山県の地域環境, 地域社会との共生に関する理解および倫理観を身につけ, 公共の安全や利益に配慮したものづくりの考え方を理解し説明できる。	(a)  (b)	日本経済論、地域と文化 (本科)、現代アジア論 (専攻科) 上記科目よりのうち1単位以上修得を義務づける。 各科目の修得条件はシラバスに記載  企業実践講座、知的財産権 (本科)、技術者倫理、環境アセスメント (専攻科) 上記の科目より2単位以上の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載。		
(B) 社会のニーズおよび環境に配慮し、かつ与えられた制約下で、工学の基礎的な知識・技術を統合して課題を解決するデザイン能力を身につける。	(d2)(d3) (e) (h) (i)	物質工学実験 I, 生物工学実験 I, 物質工学実験 II, 生物工学実験 II, 卒業研究 (本科), 工学特別実験, 特別研究 I・II, 創造プログラミング (専攻科) 上記の科目から 39 単位以上の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載。		
(C) 自主的・継続的な学習を通じて、自己の専門分野での深い学問的知識や経験に加え、他分野にまたがる幅広い知識を身につける。	(C-1) 自然科学・情報技術に関する基礎的素養を有し、それぞれの専門分野での問題解決のためにそれらを駆使できる能力を身につける。	(c)  (2.1)	応用数学, 応用物理, 物理化学, 有機化学, 高分子化学, 生物化学, 化学工学, 機器分析 I (本科), 線形代数, 数理工学, 数理統計学, 数値計算・解析法, 量子力学, 物性物理, 環境マネジメント (専攻科) 上記の科目より8単位以上の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載。  設計・システム系、情報論理系、材料・バイオ系、力学系、および社会技術系の科目群より、各系1科目合計6科目以上の単位を取得することを義務づける。 各系の科目群は別に記す。 修得条件はシラバスに記載。	
	(C-2) それぞれの専門分野に関する深い学問的知識と実験・実習で得た多くの経験を持ち、それらを問題解決のために応用できる能力を身につける。	(d1) (d4)	各専門分野で指定された科目群より10単位以上修得のこと。 各専門分野の科目群は別に記す。 修得条件はシラバスに記載。	
	(C-3) 長期的視点に立ち、計画的に継続して自らの能力を向上させようとする習慣とそれを実現する能力を身につける。	(g)		
(D) 自分の考えを論理的に文章化する確かな記述力、国際的に通用するコミュニケーション基礎能力、プレゼンテーション能力を身につける。	(f)  (f)	卒業研究 (本科), 特別研究 I・II (専攻科) 上記の科目の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載。  英語、工業外国語、英語A、英語B (本科)、時事英語、実用英会話、テクニカルライティング、工学特別ゼミナール、ビジネスコミュニケーション (専攻科) 上記の科目のうち8単位以上の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載。		

C-1 (2.1) に相当する科目

物質工学科 エコシステム 工学専攻	①設計・システム系科目群 ②情報・論理系科目群 ③材料・バイオ系科目群  ④力学系科目群 ⑤社会技術系科目群	化学工学 (本科必修), 物質工学実用数学, 電気工学概論 (本科選択) 計測制御工学 (本科選択), 情報理論 (専攻科選択) 無機材料化学, 有機材料化学, 化学工学, 合成化学, 反応工学, 酵素化学, 培養工学, 分子生物学 (本科選択必修), 量子化学, 機器分析 II, 移動速度論, 物性物理化学, 食品工学, 蛋白質工学, 生物物理化学, 有機資源化学, 物質工学特論 (本科選択), 応用材料工学 (専攻科) 応用物理 (本科必修), 機械工学概論 (本科選択) 環境工学 (本科選択), 環境化学工学, 環境分析, センサー工学, 地域環境工学 (専攻科選択)
-------------------------	---	--

C-2 (d1, d4)、C-3 (g) に相当する科目

物質工学科 エコシステム 工学専攻	卒業研究 (本科必修), 反応有機化学, 有機機能材料, 遺伝子工学, 細胞工学, 生体高分子, 分離工学, 化学反応論, 応用地盤工学, 複合構造工学, 応用エネルギー工学, 建設設計工学, 社会基盤計画学, 水圏工学, 環境アセスメント (専攻科選択)
-------------------------	--

学習教育目標	系	科目	学年	必・選	単位	関連する基準1	履修要件	必要単位数	単位	評価					
(A) 和歌山県の地域環境、地域社会との共生に関する理解および倫理観を身につけ、公共の安全や利益に配慮したもののづくりの考え方を理解し説明できる。		日本経済論	本4年	必修	1	(a)	日本経済論、地域と文化(本科)、現代アジア論(専攻科) 上記科目より1単位以上修得を義務づける。 各科目の修得条件はシラバスに記載	1							
		地域と文化Ⅰ	本5年	選択	1										
		地域と文化Ⅱ	本5年	選択	1										
		地域と文化Ⅲ	本5年	選択	1										
		地域と文化Ⅳ	本5年	選択	1										
		現代アジア論	専2年	選択	2										
	小計														
			企業実践講座	本4年	選択	1	(b)	企業実践講座、知的財産権(本科)、技術者倫理、環境アセスメント(専攻科) 上記の科目より2単位以上の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載。	2						
			知的財産権	本5年	選択	1									
			技術者倫理	専2年	必修	2									
環境アセスメント			専1年	選択	2										
小計															
(B) 社会のニーズおよび環境に配慮し、かつ与えられた制約下で、工学の基礎的な知識・技術を統合して課題を解決するデザイン能力を身に付ける。		物質工学実験Ⅰ	本4年	コース別必修	8	(d2_b) (d2_c) (e) (h) (i)	物質工学実験Ⅰ、生物工学実験Ⅰ、物質工学実験Ⅱ、生物工学実験Ⅱ、卒業研究(本科)、工学特別実験、特別研究、創造プログラミング(専攻科) 上記の科目より39単位以上の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載。	39							
		生物工学実験Ⅰ	本4年	コース別必修	8										
		物質工学実験Ⅱ	本5年	コース別必修	6										
		生物工学実験Ⅱ	本5年	コース別必修	6										
		卒業研究	本5年	必修	7										
		工学特別実験	専1年	必修	4										
		特別研究Ⅰ	専1年	必修	4										
		特別研究Ⅱ	専2年	必修	10										
		創造プログラミング	専2年	選択	2										
		小計													
(C-1) 自然科学・情報技術に関する基礎的素養を有し、それぞれの専門分野での問題解決のためにそれらを駆使できる能力を身につける。		応用数学	本4年	必修	2	(c)	応用数学、応用物理、物理化学、有機化学、高分子化学、生物化学、化学工学、機器分析Ⅰ(本科)、線形代数、数理工学、数理統計学、数値計算・解析法、量子力学、物性物理、環境マネジメント(専攻科) 上記の科目より8単位以上の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載。	8							
		応用物理	本4年	必修	2										
		物理化学	本4年	必修	2										
		有機化学	本4年	必修	1										
		高分子化学	本4年	必修	2										
		生物化学	本4年	必修	2										
		化学工学	本5年	必修	2										
		機器分析Ⅰ	本4年	必修	1										
		線形代数	専1年	選択	2										
		数理工学	専1年	選択	2										
数理統計学	専1年	選択	2												
数値計算・解析法	専1年	選択	2												
量子力学	専1年	選択	2												
物性物理	専2年	選択	2												
環境マネジメント	専2年	選択	2												
小計															
(C-2) それぞれの専門分野に関する深い学問的知識と実践・実習で得た多くの経験を持ち、それらを問題解決のために応用できる能力を身につける。	設計・システム系	化学工学	本4年	必修	3	(2.1)①									
		化学工学	本5年	必修	2										
		物質工学実用数学(学修単位)	本5年	選択	1										
		電気工学概論(学修単位)	本5年	選択	1										
小計															
(C-3) 長期的視点に立ち、計画的に継続して自らの能力を向上させようとする習慣とそれを実現する能力を身につける。	情報論理系	計測制御工学	本5年	選択	1	(2.1)②									
		情報理論	専1年	選択	2										
小計															
(C) 自主的・継続的な学習を通じて、自己の専門分野で深い学問的知識や経験に加え、他分野にまたがる幅広い知識を身に付ける。	材料・バイオ系	無機材料化学(学修単位)	本4年	コース別必修	2	(2.1)③	設計・システム系、情報論理系、材料・バイオ系、力学系、および社会技術系の科目群より、各系1科目合計6科目以上の単位を取得することを義務づける。 修得条件はシラバスに記載。	8							
		有機材料化学(学修単位)	本4年	コース別必修	2										
		合成化学(学修単位)	本5年	コース別必修	2										
		反応化学(学修単位)	本5年	コース別必修	2										
		酵素化学(学修単位)	本4年	コース別必修	2										
		培養工学(学修単位)	本5年	コース別必修	2										
		分子生物学(学修単位)	本4年	コース別必修	2										
		分子生物学(学修単位)	本5年	コース別必修	2										
		量子化学(学修単位)	本5年	選択	1										
		機器分析Ⅱ	本5年	選択	1										
		移動速度論	本5年	選択	1										
		物性物理化学(学修単位)	本5年	選択	2										
		食品工学(学修単位)	本5年	選択	2										
		蛋白質工学(学修単位)	本5年	選択	1										
		生物物理化学	本5年	選択	1										
		有機資源化学	本5年	選択	1										
物質工学特論	本5年	選択	1												
卒業研究	本5年	必修	7												
応用材料工学	専1年	選択	2												
小計															
(C-1) 自然科学・情報技術に関する基礎的素養を有し、それぞれの専門分野での問題解決のためにそれらを駆使できる能力を身につける。	力学系	応用物理	本4年	必修	2	(2.1)④									
		機械工学概論(学修単位)	本5年	選択	1										
		小計													
		環境工学	本5年	選択	1										
(C-2) それぞれの専門分野に関する深い学問的知識と実践・実習で得た多くの経験を持ち、それらを問題解決のために応用できる能力を身につける。	社会技術系	環境分析	専1年	選択	2	(2.1)⑤									
		環境化学工学	専1年	選択	2										
		センサー工学	専1年	選択	2										
		地域環境工学	専2年	選択	2										
小計															
(C-3) 長期的視点に立ち、計画的に継続して自らの能力を向上させようとする習慣とそれを実現する能力を身につける。		卒業研究	本5年	必修	7	(d1) (d4) (g)	各専門分野で指定された科目群より10単位以上修得のこと。各専門分野の修得条件はシラバスに記載。	10							
		反応有機化学	専1年	選択	2										
		遺伝子工学	専1年	選択	2										
		細胞工学	専1年	選択	2										
		分離工学	専1年	選択	2										
		応用地盤工学	専1年	選択	2										
		応用エネルギー工学	専1年	選択	2										
		水圏工学	専1年	選択	2										
		有機機能材料	専2年	選択	2										
		生体高分子	専2年	選択	2										
		化学反応論	専2年	選択	2										
		複合構造工学	専2年	選択	2										
		建設設計工学	専2年	選択	2										
		社会基盤計画学	専2年	選択	2										
		学外実習	本4年	選択	1										
		インターンシップ	専1年	選択	2										
工学特別ゼミナール(1年次)	専1年	必修	2												
工学特別ゼミナール(2年次)	専2年	必修	2												
小計															
(D) 自分の考えを論理的に文章化する確かな記述力、国際的に通用するコミュニケーション基礎能力、プレゼンテーション能力を身に付ける。		卒業研究	本5年	必修	7	(f)	卒業研究(本科)、特別研究(専攻科) 上記の科目の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載。	21							
		特別研究Ⅰ	専1年	必修	4										
		特別研究Ⅱ	専2年	必修	10										
		小計													
		英語	本4年	必修	2						(f)	英語、英語A、英語B、工業外国語(本科)、時事英語、実用英会話、テクニカルライティング、ビジネスコミュニケーション、工学特別ゼミナール(専攻科) 上記の科目のうち8単位の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載。	8		
		工業外国語	本4年	選択	1										
		英語A	本5年	選択	2										
		英語B	本5年	選択	2										
		時事英語	専1年	必修	2										
		実用英会話	専1年	必修	2										
テクニカルライティング	専1年	選択	2												
ビジネスコミュニケーション	専1年	選択	2												
工学特別ゼミナール(1年次)	専1年	必修	2												
工学特別ゼミナール(2年次)	専2年	必修	2												
小計															

表2 学習教育目標とその評価方法 (物質工学科-エコシステム工学専攻、平成32年度修了生用)

学習・教育目標	関連する基準1(2)と基準2.1の項目	評価方法	備考	
(A) 和歌山県の地域環境, 地域社会との共生に関する理解および倫理観を身につけ, 公共の安全や利益に配慮したものづくりの考え方を理解し説明できる。	(a)  (b)	日本経済論、地域と文化 (本科)、現代アジア論 (専攻科) 上記科目よりのうち1単位以上修得を義務づける。 各科目の修得条件はシラバスに記載  企業実践講座、知的財産権 (本科)、技術者倫理、ベンチャー講座、環境アセスメント (専攻科) 上記の科目より2単位以上の修得を義務づける。		
(B) 社会のニーズおよび環境に配慮し、かつ与えられた制約下で、工学の基礎的な知識・技術を統合して課題を解決するデザイン能力を身につける。	(d2)(d3) (e) (h) (i)	物質工学実験 I, 生物工学実験 I, 物質工学実験 II, 生物工学実験 II, 卒業研究 (本科), 工学特別実験, 特別研究 I・II, 創造プログラミング (専攻科) 上記の科目から39単位以上の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載。		
(C) 自主的・継続的な学習を通じて、自己の専門分野での深い学問的知識や経験に加え、他分野にまたがる幅広い知識を身につける。	(C-1) 自然科学・情報技術に関する基礎的素養を有し、それぞれの専門分野での問題解決のためにそれらを駆使できる能力を身につける。	(c)	応用数学, 応用物理, 物理化学, 有機化学, 高分子化学, 生物化学, 化学工学, 機器分析 I (本科), 線形代数, 数理工学, 数理統計学, 数値計算・解析法, 量子力学, 物性物理, 環境マネジメント (専攻科) 上記の科目より8単位以上の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載。	
	(C-2) それぞれの専門分野に関する深い学問的知識と実験・実習で得た多くの経験を持ち、それらを問題解決のために応用できる能力を身につける。	(d1) (d4)	(2.1)	設計・システム系、情報論理系、材料・バイオ系、力学系、および社会技術系の科目群より、各系1科目合計6科目以上の単位を取得することを義務づける。 各系の科目群は別に記す。 修得条件はシラバスに記載。
	(C-3) 長期的視点に立ち、計画的に継続して自らの能力を向上させようとする習慣とそれを実現する能力を身につける。	(g)		各専門分野で指定された科目群より10単位以上修得のこと。 各専門分野の科目群は別に記す。 修得条件はシラバスに記載。
(D) 自分の考えを論理的に文章化する確かな記述力、国際的に通用するコミュニケーション基礎能力、プレゼンテーション能力を身につける。	(f)  (f)	卒業研究 (本科), 特別研究 I・II (専攻科) 上記の科目の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載。  英語、工業外国語、第2外国語、英語A、英語B (本科)、時事英語、実用英会話、テクニカルライティング、工学特別ゼミナール、ビジネスコミュニケーション (専攻科) 上記の科目のうち8単位以上の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載。		

C-1 (2.1) に相当する科目

物質工学科 エコシステム 工学専攻	①設計・システム系科目群 ②情報・論理系科目群 ③材料・バイオ系科目群  ④力学系科目群 ⑤社会技術系科目群	化学工学 (本科必修), 物質工学実用数学, 電気工学概論 (本科選択) 計測制御工学 (本科選択), 情報理論 (専攻科選択) 無機材料化学, 有機材料化学, 合成化学, 反応工学, 酵素化学, 培養工学, 分子生物学 (本科選択必修), 量子化学, 機器分析 II, 移動速度論, 物性物理化学, 食品工学, 蛋白質工学, 生物物理化学, 有機資源化学, 物質工学特論 (本科選択), 応用材料工学 (専攻科) 応用物理 (本科必修), 機械工学概論 (本科選択) 環境工学 (本科選択), 環境化学工学, 環境分析, センサー工学, 地域環境工学 (専攻科選択)
-------------------------	---	--

C-2 (d1, d4)、C-3 (g)に相当する科目

物質工学科 エコシステム 工学専攻	卒業研究 (本科必修), 反応有機化学, 有機機能材料, 遺伝子工学, 細胞工学, 生体高分子, 分離工学, 化学反応論, 応用地盤工学, 複合構造工学, 応用エネルギー工学, 建設設計工学, 社会基盤計画学, 水圏工学, 環境アセスメント (専攻科選択)、学外実習、県内インターンシップ、インターンシップ、工学特別ゼミナール
-------------------------	---

学習教育目標	系	科目	学年	必・選	単位	関連する 基準	履修要件	必要単位数	単位	評価							
(A) 和歌山県の地域環境、地域社会との共生に関する理解および倫理観を身につけ、公共の安全や利益に配慮したもののづくりの考え方を理解し説明できる。		日本経済論	本4年	必修	1	(a)	日本経済論、地域と文化、保健体育(本科)、現代アジア論(専攻科)上記科目より1単位以上修得を義務づける。各科目の修得条件はシラバスに記載。	1	●								
		地域と文化Ⅰ	本5年	選択	1												
		地域と文化Ⅱ	本5年	選択	1												
		地域と文化Ⅲ	本5年	選択	1												
		地域と文化Ⅳ	本5年	選択	1												
		現代アジア論	専2年	選択	2												
		保健・体育	本4年	必修	2												
		保健・体育	本5年	必修	1												
		保健・体育A	本5年	選択	1												
		小計															
		企業実践講座	本4年	選択	1						(b)	企業実践講座、ベンチャー講座、知的財産権(本科)、技術者倫理、環境アセスメント(専攻科)上記の科目より2単位以上の修得を義務づける。修得条件はシラバスに記載。	2	●			
		ベンチャー講座(学修単位)	本4年	選択	1												
		知的財産権	本5年	選択	1												
		技術者倫理	専2年	必修	2												
環境アセスメント	専1年	選択	2														
小計																	
(B) 社会のニーズおよび環境に配慮し、かつ与えられた制約下で、工学の基礎的な知識・技術を統合して課題を解決するデザイン能力を身に付ける。		物質工学実験Ⅰ	本4年	コース別必修	8	(d2) (d3) (e) (h) (i)	物質工学実験Ⅰ、生物工学実験Ⅰ、物質工学実験Ⅱ、生物工学実験Ⅱ、卒業研究(本科)、工学特別実験、特別研究Ⅰ・Ⅱ、創造プログラミング(専攻科)上記の科目から39単位以上の修得を義務づける。修得条件はシラバスに記載。	39	●								
		生物工学実験Ⅰ	本4年	コース別必修	8												
		物質工学実験Ⅱ	本5年	コース別必修	6												
		生物工学実験Ⅱ	本5年	コース別必修	6												
		卒業研究	本5年	必修	7												
		工学特別実験	専1年	必修	4												
		特別研究Ⅰ	専1年	必修	4												
		特別研究Ⅱ	専2年	必修	10												
		創造プログラミング	専2年	選択	2												
		小計															
		(C-1) 自然科学・情報技術に関する基礎的素養を有し、それぞれの専門分野での問題解決のためにそれらを駆使できる能力を身に付ける。		応用数学	本4年						必修	2	(c)	応用数学、応用物理、物理化学、有機化学、高分子化学(学修単位)、生物化学、化学工学、機器分析Ⅰ(本科)、線形代数、数理工学、数理統計学、数値計算・解析法、量子力学、物性物理、環境マネジメント(専攻科)上記の科目より8単位以上の修得を義務づける。修得条件はシラバスに記載。	8	●	
応用物理	本4年			必修	2												
物理化学	本4年			必修	2												
有機化学	本4年			必修	1												
高分子化学(学修単位)	本4年			必修	2												
生物化学	本4年			必修	2												
化学工学	本5年			必修	2												
機器分析Ⅰ	本4年			必修	2												
線形代数	専1年			選択	2												
数理工学	専1年			選択	2												
数理統計学	専2年			選択	2												
数値計算・解析法	専1年			選択	2												
量子力学	専1年			選択	2												
物性物理	専2年			選択	2												
環境マネジメント	専2年			選択	2												
小計																	
設計・システム系				化学工学	本4年	必修	3	(2.1)①		5	●						
				化学工学	本5年	必修	2										
				物質工学実用数学(学修単位)	本5年	選択	1										
				電気工学概論(学修単位)	本5年	選択	1										
小計																	
情報論理系				計測制御工学	本5年	選択	1	(2.1)②		1	●						
				情報理論	専1年	選択	2										
小計																	
材料・バイオ系		無機材料化学(学修単位)	本4年	コース別必修	2	(2.1)③	設計・システム系、情報論理系、材料・バイオ系、力学系、および社会技術系の科目群より、各系1科目合計6科目以上の単位を取得することを義務づける。修得条件はシラバスに記載。	8	●								
		有機材料化学(学修単位)	本4年	コース別必修	2												
		合成化学(学修単位)	本5年	コース別必修	2												
		反応工学(学修単位)	本5年	コース別必修	2												
		離析化学(学修単位)	本4年	コース別必修	2												
		培養工学(学修単位)	本5年	コース別必修	2												
		分子生物学(学修単位)	本4年	コース別必修	2												
		分子生物学(学修単位)	本5年	コース別必修	2												
		量子化学(学修単位)	本5年	選択	1												
		機器分析Ⅱ	本5年	選択	1												
		移動速度論	本5年	選択	1												
		物性物理化学(学修単位)	本5年	選択	2												
		食品工学(学修単位)	本5年	選択	2												
		膜工質工学(学修単位)	本5年	選択	1												
生物物理化学	本5年	選択	1														
有機金属化学	本5年	選択	1														
物質工学特論	本5年	選択	1														
卒業研究	本5年	必修	7														
応用材料工学	専1年	選択	2														
小計																	
力学系		応用物理	本4年	必修	2	(2.1)④		2	●								
		機械工学概論(学修単位)	本5年	選択	1												
小計																	
社会技術系		環境工学	本5年	選択	1	(2.1)⑤		1	●								
		環境分析	専1年	選択	2												
		環境化学工学	専1年	選択	2												
		センサー工学	専1年	選択	2												
		地域環境工学	専2年	選択	2												
小計																	
(C-2) それぞれの専門分野に関する深い学問的知識と実験・実習で得た多くの経験を持ち、それら問題解決のために応用できる能力を身に付ける。		卒業研究	本5年	必修	7	(d1) (d4) (g)	各専門分野で指定された科目群より10単位以上修得のこと。各専門分野の修得条件はシラバスに記載。	10	●								
		反応有機化学	専1年	選択	2												
		濃伝子工学	専1年	選択	2												
		細胞工学	専1年	選択	2												
		環境工学	専1年	選択	2												
		応用地盤工学	専1年	選択	2												
		応用エネルギー工学	専1年	選択	2												
		水園工学	専1年	選択	2												
		有機機能材料	専2年	選択	2												
		生体高分子	専2年	選択	2												
		化学反応論	専2年	選択	2												
		複合構造工学	専2年	選択	2												
		建設設計工学	専2年	選択	2												
		社会基盤計画学	専2年	選択	2												
		学外実習	本4年	選択	1												
		県内インターンシップ	本4年	選択	2												
		インターンシップ	専1,2年	選択	2												
工学特別ゼミナール(1年次)	専1年	必修	2														
工学特別ゼミナール(2年次)	専2年	必修	2														
小計																	
(C-3) 長期的視点に立ち、計画的に継続して自らの能力を向上させようとする習慣とそれを実現する能力を身に付ける。		卒業研究	本5年	必修	7	(f)	卒業研究(本科)、特別研究Ⅰ・Ⅱ(専攻科)上記の科目の修得を義務づける。修得条件はシラバスに記載。	21	●								
		特別研究Ⅰ	専1年	必修	4												
		特別研究Ⅱ	専2年	必修	10												
		小計															
		英語	本4年	必修	2						(f)	英語、英語A、英語B、工業外国語、第2外国語(本科)、時事英語、実用英会話、アカデミックライティング、ビジネスコミュニケーション、工学特別ゼミナール(専攻科)上記の科目のうち8単位の修得を義務づける。修得条件はシラバスに記載。	8	●			
		工業外国語	本4年	選択	1												
		英語A	本5年	選択	2												
		英語B	本5年	選択	2												
		時事英語	専1年	必修	2												
		実用英会話	専1年	必修	2												
		テクニカルライティング	専1年	選択	2												
		ビジネスコミュニケーション	専1年	選択	2												
		工学特別ゼミナール(1年次)	専1年	必修	2												
		工学特別ゼミナール(2年次)	専2年	必修	2												
第2外国語AⅠ(ドイツ語)	本4年	選択	3														
第2外国語BⅠ(フランス語)	本4年	選択	3														
第2外国語CⅠ(中国語)	本4年	選択	3														
第2外国語AⅡ(ドイツ語)	本5年	選択	2														
第2外国語BⅡ(フランス語)	本5年	選択	2														
第2外国語CⅡ(中国語)	本5年	選択	2														
海外異文化交流(留学)	本4,5年	選択	1														
小計																	
(D) 自分の考えを論理的に文章化する確かな記述力、国際的に通用するコミュニケーション基礎能力、プレゼンテーション能力を身に付ける。		卒業研究	本5年	必修	7	(f)	卒業研究(本科)、特別研究Ⅰ・Ⅱ(専攻科)上記の科目の修得を義務づける。修得条件はシラバスに記載。	21	●								
		特別研究Ⅰ	専1年	必修	4												
		特別研究Ⅱ	専2年	必修	10												
		小計															
		英語	本4年	必修	2						(f)	英語、英語A、英語B、工業外国語、第2外国語(本科)、時事英語、実用英会話、アカデミックライティング、ビジネスコミュニケーション、工学特別ゼミナール(専攻科)上記の科目のうち8単位の修得を義務づける。修得条件はシラバスに記載。	8	●			
		工業外国語	本4年	選択	1												
		英語A	本5年	選択	2												
		英語B	本5年	選択	2												
		時事英語	専1年	必修	2												
		実用英会話	専1年	必修	2												
		テクニカルライティング	専1年	選択	2												
		ビジネスコミュニケーション	専1年	選択	2												
		工学特別ゼミナール(1年次)	専1年	必修	2												
		工学特別ゼミナール(2年次)	専2年	必修	2												
第2外国語AⅠ(ドイツ語)	本4年	選択	3														
第2外国語BⅠ(フランス語)	本4年	選択	3														
第2外国語CⅠ(中国語)	本4年	選択	3														
第2外国語AⅡ(ドイツ語)	本5年	選択	2														
第2外国語BⅡ(フランス語)	本5年	選択	2														
第2外国語CⅡ(中国語)	本5年	選択	2														
海外異文化交流(留学)	本4,5年	選択	1														
小計																	

表2 学習教育目標とその評価方法（環境都市工学科ーエコシステム工学専攻、平成31年度修了生用）

学習・教育目標	関連する基準1(2)と基準2.1の項目	評価方法	備考
(A) 和歌山県の地域環境，地域社会との共生に関する理解および倫理観を身につけ，公共の安全や利益に配慮したものづくりの考え方を理解し説明できる。	(a) (b)	日本経済論、地域と文化（本科）、現代アジア論（専攻科） 上記の科目より1単位以上修得を義務づける。 各科目の修得条件はシラバスに記載 企業実践講座、知的財産権(本科)、技術者倫理、環境アセスメント（専攻科） 上記の科目より2単位以上の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載。	
(B) 社会のニーズおよび環境に配慮し、かつ与えられた制約下で、工学の基礎的な知識・技術を統合して課題を解決するデザイン能力を身につける。	(d2), (d3) (e) (i)	基礎実験Ⅱ、設計製図Ⅲ、卒業研究（本科）、工学特別実験、特別研究Ⅰ・Ⅱ、創造プログラミング（専攻科） 上記の科目より31単位以上の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載。	
(C) 自主的・継続的な学習を通じて、自己の専門分野での深い学問的知識や経験に加え、他分野にまたがる幅広い知識を身につける。	(C-1) 自然科学・情報技術に関する基礎的素養を有し、それぞれの専門分野での問題解決のためにそれらを駆使できる能力を身につける。	(c)	応用数学Ⅰ、応用数学Ⅱ、都市環境工学、計画数理、地形情報処理学、応用情報処理演習Ⅰ、応用情報処理演習Ⅱ、計画数理（本科）数理工学、数理統計学、線形代数、数値計算・解析法、量子力学、物性物理、環境マネジメント（専攻科） 上記の科目より8単位以上の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載。
	(C-2) それぞれの専門分野に関する深い学問的知識と実験・実習で得た多くの経験を持ち、それらを問題解決のために応用できる能力を身につける。	(2.1)	設計・システム系、情報論理系、材料・バイオ系、力学系、および社会技術系の科目群より、各系1科目合計6科目以上の単位を取得することを義務づける。 各系の科目群は別に記す。 修得条件はシラバスに記載。
	(C-3) 長期的視点に立ち、計画的に継続して自らの能力を向上させようとする習慣とそれを実現する能力を身につける。	(d1), (d4) (g)	各専門分野で指定された科目群より10単位以上修得のこと。各専門分野の科目群は別に記す。 修得条件はシラバスに記載。
(D) 自分の考えを論理的に文章化する確かな記述力、国際的に通用するコミュニケーション基礎能力、プレゼンテーション能力を身につける。	(f) (f)	卒業研究（本科）、特別研究Ⅰ・Ⅱ（専攻科） 上記の科目の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載。  英語、英語A、英語B、工業外国語（本科）時事英語、実用英会話、テクニカルライティング、ビジネスコミュニケーション、工学特別ゼミナール（専攻科） 上記の科目のうち8単位の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載。	

C-1 (2.1) に相当する科目

環境都市工学科	①設計・システム系科目群 ②情報・論理系科目群 ③材料・バイオ系科目群 ④力学系科目群 ⑤社会技術系科目群	設計製図Ⅱ、コンクリート構造学Ⅱ（本科必修）、鋼構造学、振動工学、コンクリート構造学特論、耐震工学、施工管理学、建築学概論（本科選択） 測量学Ⅳ（本科必修）、電気工学概論（本科選択）、情報論理（専攻科選択） 土質力学（本科必修）、土質力学特論（本科選択）、応用材料工学（専攻科選択） 構造力学Ⅲ、水理学Ⅱ（本科必修）、構造力学特論、水工水理学（本科選択） 環境計画学、資源循環システム学、水道工学、下水道工学、社会基盤メンテナンス工学、交通システム、道路工学、都市地域計画、総合演習Ⅰ、総合演習Ⅱ、地形情報処理学、環境地盤工学、機械工学概論、景観工学（本科選択）、環境化学工学、環境分析、センサー工学、地域環境工学（専攻科選択）
---------	---	--

C-2 (d1, d4) に相当する科目

エコシステム工学専攻	複合構造工学、応用地盤工学、水圏工学、応用エネルギー工学、反応有機化学、遺伝子工学、細胞工学、分離工学、有機機能材料、化学反応論、生体高分子、建設設計工学、社会基盤計画学（専攻科選択）
------------	--

C-3 (g) に相当する科目

環境都市工学科・エコシステム工学専攻	学外実習（本科選択） 工学特別ゼミナール(1年次、2年次)（専攻科必修）、インターンシップ（専攻科選択）
--------------------	---

学習目標に対する単位の換算表および履修確認表 平成31年度修了生用  
 エコシステム工学専攻  
 (環境→エコ)

学習教育目標	系	科目	学年	必・選	単位	関連する 基準	履修要件	学籍番号	単位	評価
								氏名		
								必要単位数		
(A) 和歌山県の地域環境、地域社会との共生に関する理解および倫理観を身につけ、公共の安全や利益に配慮したものづくりの考え方を理解し説明できる。		日本経済論	本4年	必修	1	(a)	日本経済論、地域と文化(本科)、現代アジア論(専攻科) 上記の科目より1単位以上修得を義務づける。 各科目の修得条件はシラバスに記載する。	1		
		地域と文化Ⅰ	本5年	選択	1					
		地域と文化Ⅱ	本5年	選択	1					
		地域と文化Ⅲ	本5年	選択	1					
		地域と文化Ⅳ	本5年	選択	1					
	現代アジア論	専2年	選択	2	小計					
		企業実践講座	本4年	選択	1	(b)	企業実践講座、知的財産権(本科)、環境アセスメント、技術者倫理(専攻科) 上記の科目より2単位以上の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載する。	2		
		知的財産権	本5年	選択	1					
		環境アセスメント	専1年	選択	2					
		技術者倫理	専2年	必修	2					
					小計					
(B) 社会のニーズおよび環境に配慮し、かつ与えられた制約下で工学の基礎的な知識・技術を統合して課題を解決するデザイン能力を身につける。		基礎実験Ⅱ	本4年	必修	2	(d2) (d3) (e) (h) (i)	基礎実験Ⅱ、設計製図Ⅲ、卒業研究(本科)、工学特別実験、特別研究Ⅰ・Ⅱ、創造プログラミング(専攻科) 上記の科目より31単位以上の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載する。	31		
		総合演習Ⅰ	本4年	必修	1					
		総合演習Ⅱ	本5年	必修	1					
		設計製図Ⅲ	本5年	必修	2					
		卒業研究	本5年	必修	10					
		工学特別実験	専1年	必修	4					
		特別研究Ⅰ	専1年	必修	4					
		創造プログラミング	専2年	選択	2					
		特別研究Ⅱ	専2年	必修	10					
(C) 自主的・継続的な学習を通じて、自己の専門分野での深い学問的知識や経験に加え、他分野にまたがる幅広い知識を身につける。		応用数学Ⅰ	本4年	必修	2	(c)	応用数学Ⅰ、Ⅱ、都市環境工学、計画数理、地形情報処理学、応用情報処理演習Ⅰ、Ⅱ(本科)、数理工学、数理統計学、線形代数、量子力学、物性物理、数値計算・解析法、環境マネジメント(専攻科) 上記の科目より8単位以上の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載する。	8		
		応用数学Ⅱ	本4年	必修	2					
		応用情報処理演習Ⅰ	本4年	選択	1					
		応用情報処理演習Ⅱ	本4年	選択	1					
		都市環境工学(学修単位)	本4年	選択	1					
		計画数理(学修単位)	本5年	選択	1					
		地形情報処理学	本5年	選択	1					
		数理工学	専1年	選択	2					
		数理統計学	専1年	選択	2					
		線形代数	専1年	選択	2					
	量子力学	専1年	選択	2						
	数値計算・解析法	専1年	選択	2						
	物性物理	専2年	選択	2						
	環境マネジメント	専2年	選択	2						
					小計					
	設計・システム系	設計製図Ⅱ	本4年	必修	2	(2.1)	設計・システム系、情報論理系、材料・バイオ系、力学系、および社会技術系の科目群より、各系1科目合計6科目以上の単位を取得することを義務づける。 修得条件はシラバスに記載する。	2		
		コンクリート構造学Ⅱ	本4年	必修	1					
		鋼構造学	本4年	選択	2					
		振動工学	本4年	選択	1					
		コンクリート構造学特論	本4年	選択	1					
		耐震工学	本5年	選択	1					
	施工管理工学(学修単位)	本5年	選択	2						
	建築学概論	本5年	選択	1						
					小計					
	情報論理系	測量学Ⅳ(学修単位)	本4年	必修	1	(2.1)		1		
		電気工学概論	本5年	選択	1					
		情報理論	専1年	選択	2					
					小計					
	材料・バイオ系	十哲力学	本4年	必修	2	(2.1)		3		
		十哲力学特論	本5年	選択	1					
応用材料工学		専1年	選択	2						
				小計						
力学系	構造力学Ⅲ	本4年	必修	2	(2.1)		4			
	水理学Ⅱ	本4年	必修	2						
	構造力学特論	本5年	選択	1						
	水工水理学	本5年	選択	2						
				小計						
社会技術系	環境計画学(学修単位)	本4年	選択	1	(2.1)		1			
	水産工学	本4年	選択	1						
	都市地域計画	本4年	選択	1						
	総合演習Ⅰ	本4年	必修	1						
	資源循環システム学	本5年	選択	1						
	下水工学	本5年	選択	1						
	社会基盤メンテナンス工学	本5年	選択	1						
	交通システム	本5年	選択	1						
	道路工学	本5年	選択	1						
	総合演習Ⅱ	本5年	選択	1						
	環境地盤工学(学修単位)	本5年	選択	1						
	景観工学	本5年	選択	1						
	機械工学概論	本5年	選択	1						
環境化学工学	専1年	選択	2							
環境分析	専1年	選択	2							
センサー工学	専1年	選択	2							
地域環境工学	専2年	選択	2							
				小計						
(C-2)それぞれの専門分野に関する深い学問的知識と実験・実習で得た多くの経験を持ち、それらを用いて課題解決のために応用できる能力を身につける。	応用地盤工学	専1年	選択	2	(d1) (d4)	各専門分野で指定された科目群より10単位以上修得のこと。各専門分野の修得条件はシラバスに記載する。				
	細胞工学	専1年	選択	2						
	水圏工学	専1年	選択	2						
	応用エネルギー工学	専1年	選択	2						
	反応有機化学	専1年	選択	2						
	分離工学	専1年	選択	2						
	遺伝子工学	専1年	選択	2						
	複合構造工学	専2年	選択	2						
	有機機能材料	専2年	選択	2						
	化学反応論	専2年	選択	2						
	生体高分子	専2年	選択	2						
	建設設計工学	専2年	選択	2						
	社会基盤計画学	専2年	選択	2						
				小計						
(C-3)長期的視点に立ち、計画的に継続して自らの能力を向上させようとする習慣とそれを実現する能力を身につける。	学外実習	本4年	選択	1	(g)		10			
	インターンシップ	専1年	選択	2						
	工学特別ゼミナール(1年次)	専1年	必修	2						
	工学特別ゼミナール(2年次)	専2年	必修	2						
				小計						
(D) 自分の考えを論理的に文章化する確かな記述力、国際的に通用するコミュニケーション基礎能力、プレゼンテーション能力を身につける。	卒業研究	本5年	必修	10	(f)	卒業研究(本科)、特別研究Ⅰ・Ⅱ(専攻科) 上記の科目の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載する。	24			
	特別研究Ⅰ	専1年	必修	4						
	特別研究Ⅱ	専2年	必修	10						
					小計					
		英語	本4年	必修	2	(f)	英語、英語A、英語B、工業外国語(本科)、時事英語、実用英会話、テクニカルライティング、ビジネスコミュニケーション、工学特別ゼミナール(専攻科) 上記の科目のうち8単位の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載する。	8		
		工業外国語	本4年	選択	1					
		英語A	本5年	選択	2					
		英語B	本5年	選択	2					
		時事英語	専1年	必修	2					
		実用英会話	専1年	必修	2					
		テクニカルライティング	専1年	選択	2					
		ビジネスコミュニケーション	専1年	選択	2					
	工学特別ゼミナール(1年次)	専1年	必修	2						
工学特別ゼミナール(2年次)	専2年	必修	2							
				小計						

表2 学習教育目標とその評価方法（環境都市工学科ーエコシステム工学専攻、平成32年度修了生用）

学習・教育目標	関連する基準1(2)と基準2.1の項目	評価方法	備考
(A) 和歌山県の地域環境，地域社会との共生に関する理解および倫理観を身につけ，公共の安全や利益に配慮したものづくりの考え方を理解し説明できる。	(a) (b)	日本経済論、地域と文化Ⅰ、地域と文化Ⅱ、地域と文化Ⅲ、地域と文化Ⅳ、保健・体育、保健・体育A（本科）、現代アジア論（専攻科） 上記の科目より1単位以上修得を義務づける。 各科目の修得条件はシラバスに記載 企業実践講座、ベンチャー講座、知的財産権（本科）、環境アセスメント、技術者倫理（専攻科） 上記の科目より2単位以上の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載。	
(B) 社会のニーズおよび環境に配慮し、かつ与えられた制約下で、工学の基礎的な知識・技術を統合して課題を解決するデザイン能力を身につける。	(d2), (d3) (e) (i)	基礎実験Ⅱ、総合演習Ⅰ、総合演習Ⅱ、設計製図Ⅲ、卒業研究（本科）、工学特別実験、特別研究Ⅰ、創造プログラミング、特別研究Ⅱ（専攻科） 上記の科目より31単位以上の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載。	
(C) 自主的・継続的な学習を通じて、自己の専門分野での深い学問的知識や経験に加え、他分野にまたがる幅広い知識を身につける。	(C-1) 自然科学・情報技術に関する基礎的素養を有し、それぞれの専門分野での問題解決のためにそれらを駆使できる能力を身につける。	(c)	応用数学Ⅰ、応用数学Ⅱ、応用情報処理演習Ⅰ、応用情報処理演習Ⅱ、都市環境工学、計画数理、地形情報処理学（本科）、数理工学、数理統計学、線形代数、量子力学、数値計算・解析法、物性物理、環境マネジメント（専攻科） 上記の科目より8単位以上の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載。
	(C-2) それぞれの専門分野に関する深い学問的知識と実験・実習で得た多くの経験を持ち、それらを問題解決のために応用できる能力を身につける。	(2.1)	設計・システム系、情報論理系、材料・バイオ系、力学系、および社会技術系の科目群より、各系1科目合計6科目以上の単位を取得することを義務づける。 各系の科目群は別に記す。 修得条件はシラバスに記載。
	(C-3) 長期的視点に立ち、計画的に継続して自らの能力を向上させようとする習慣とそれを実現する能力を身につける。	(d1), (d4)	各専門分野で指定された科目群より10単位以上修得のこと。各専門分野の科目群は別に記す。 修得条件はシラバスに記載。
(D) 自分の考えを論理的に文章化する確かな記述力、国際的に通用するコミュニケーション基礎能力、プレゼンテーション能力を身につける。	(f)	卒業研究（本科）、特別研究Ⅰ、特別研究Ⅱ（専攻科） 上記の科目の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載。	
	(f)	英語、工業外国語、英語A、英語B、第2外国語AI、第2外国語BI、第2外国語CI、第2外国語AII、第2外国語BII、第2外国語CII、海外異文化交流（本科） 時事英語、実用英会話、テクニカルライティング、ビジネスコミュニケーション、工学特別ゼミナール（専攻科） 上記の科目のうち8単位の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載。	

C-1 (2.1) に相当する科目

環境都市工学科	①設計・システム系科目群 ②情報・論理系科目群 ③材料・バイオ系科目群 ④力学系科目群 ⑤社会技術系科目群	設計製図Ⅱ、コンクリート構造学Ⅱ、鋼構造学、振動工学、コンクリート構造学特論、耐震工学、施工管理学、建築学概論（本科） 測量Ⅳ、電気工学概論（本科）、情報理論（専攻科） 土質力学、土質力学特論（本科）、応用材料工学（専攻科） 構造力学Ⅲ、水理学Ⅱ、構造力学特論、水工水理学（本科） 環境計画学、上下水道工学、都市地域計画、総合演習Ⅰ、資源循環システム学、社会基盤メンテナンス工学、交通システム、道路工学、総合演習Ⅱ、環境地盤工学、景観工学、機械工学概論（本科）、環境化学工学、環境分析、センサー工学、地域環境工学（専攻科）
---------	---	---

C-2 (d1, d4) に相当する科目

エコシステム工学専攻	応用地盤工学、細胞工学、水圏工学、応用エネルギー工学、反応有機化学、分離工学、遺伝子工学、複合構造工学、有機機能材料、化学反応論、生体高分子、建設設計工学、社会基盤計画学（専攻科）
------------	--

C-3 (g) に相当する科目

環境都市工学科・エコシステム工学専攻	学外実習、県内インターンシップ（本科） インターンシップ、工学特別ゼミナール（専攻科）
--------------------	--

学習教育目標	系	科目	学年	必・選	単位	関連する 基準1	履修要件	必要単位数	評価										
									単位	評価									
(A) 和歌山県の地域環境、地域社会との共生に関する理解および倫理観を身につけ、公共の安全や利益に配慮したもののづくりの考え方を理解し説明できる。		日本経済論	本4年	必修	1	(a)	日本経済論、地域と文化I、地域と文化II、地域と文化III、地域と文化IV、保健・体育、保健・体育A(本科)、現代アジア論(専攻科) 上記の科目より1単位以上修得を義務づける。 各科目の修得条件はシラバスに記載	1	0										
		地域と文化I	本5年	選択	1														
		地域と文化II	本5年	選択	1														
		地域と文化III	本5年	選択	1														
		地域と文化IV	本5年	選択	1														
		現代アジア論	専2年	選択	2														
		保健・体育	本4年	必修	2														
		保健・体育	本5年	必修	1														
		保健・体育A	本5年	選択	1														
		小計																	
企業実践講座		企業実践講座(学修単位)	本4年	選択	1	(b)	企業実践講座、ベンチャー講座、知的財産権(本科)、環境アセスメント、技術者倫理(専攻科) 上記の科目より2単位以上の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載。	2	0										
		ベンチャー講座	本4年	選択	1														
		知的財産権	本5年	選択	1														
		環境アセスメント	専1年	選択	2														
		技術者倫理	専2年	必修	2														
小計																			
(B) 社会のニーズおよび環境に配慮し、かつ与えられた制約下で工学の基礎的な知識・技術を統合して課題を解決するデザイン能力を身につける。		基礎実験II	本4年	必修	2	(d2) (d3) (e) (h) (i)	基礎実験II、総合演習I、総合演習II、設計製図III、卒業研究(本科)、工学特別実験、特別研究I、創造プログラミング、特別研究II(専攻科) 上記の科目より31単位以上の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載。	31	0										
		総合演習I	本4年	必修	1														
		総合演習II(学修単位)	本5年	選択	1														
		設計製図III(学修単位)	本5年	必修	2														
		卒業研究	本5年	必修	10														
		工学特別実験	専1年	必修	4														
		特別研究I	専1年	必修	4														
		創造プログラミング	専2年	選択	2														
		特別研究II	専2年	必修	10														
		小計																	
(C) 自主的・継続的な学習を通じて、自己の専門分野での深い学問的知識や経験に加え、他分野にまたがる幅広い知識を身につける。	(C-1) 自然科学・情報技術に関する基礎的素養を有し、それぞれの専門分野での問題解決のためにそれらを駆使できる能力を身につける。	設計・システム系	応用数学I(学修単位)	本4年	必修	2	(c)	応用数学I、応用数学II、応用情報処理演習I、応用情報処理演習II、都市環境工学、計画数理、地形情報処理学(本科)、数理工学、数理統計学、線形代数、量子力学、数値計算・解析法、物性物理、環境マネジメント(専攻科) 上記の科目より8単位以上の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載。	8	0									
			応用数学II	本4年	必修	2													
			応用情報処理演習I	本4年	選択	1													
			応用情報処理演習II	本4年	選択	1													
			都市環境工学(学修単位)	本4年	選択	1													
			計画数理(学修単位)	本5年	選択	1													
			地形情報処理学	本5年	選択	1													
			数理工学	専1年	選択	2													
			数理統計学	専2年	選択	2													
			線形代数	専1年	選択	2													
	量子力学	専1年	選択	2															
	数値計算・解析法	専1年	選択	2															
	物性物理	専2年	選択	2															
	環境マネジメント	専2年	選択	2															
	小計																		
	情報論理系		(2.1)①	設計製図II	本4年	必修	2	(2.1)①	設計・システム系、情報論理系、材料・バイオ系、力学系、および社会技術系の科目群より、各系1科目合計6科目以上の単位を取得することを義務づける。 各系の科目群は別に記す。 修得条件はシラバスに記載。	2	0								
				コンクリート構造学II	本4年	必修	1												
				鋼構造学(学修単位)	本4年	選択	2												
				振動工学	本4年	選択	1												
	材料・バイオ系		(2.1)②	測量学IV(学修単位)	本4年	必修	1	(2.1)②		1	0								
電気工学概論				本5年	選択	1													
情報理論				専1年	選択	2													
力学系		(2.1)③	土質力学	本4年	必修	2	(2.1)③		3	0									
			土質力学特論(学修単位)	本5年	選択	1													
			応用材料工学	専1年	選択	2													
力学系		(2.1)④	構造力学III	本4年	必修	2	(2.1)④		4	0									
			水理学II	本4年	必修	2													
			構造力学特論	本5年	選択	1													
			水工水理学	本5年	選択	2													
社会技術系		(2.1)⑤	環境計画学(学修単位)	本4年	選択	1	(2.1)⑤		1	0									
			上下水道工学(学修単位)	本4年	選択	2													
			都市地域計画	本4年	選択	1													
			総合演習I	本4年	必修	1													
			資源循環システム学	本5年	選択	1													
			社会基盤メンテナンス工学	本5年	選択	1													
			交通システム(学修単位)	本5年	選択	1													
			道路工学	本4年	選択	1													
			総合演習II(学修単位)	本5年	選択	1													
			環境地盤工学(学修単位)	本5年	選択	1													
			景観工学	本5年	選択	1													
			機械工学概論	本5年	選択	1													
			環境化学工学	専1年	選択	2													
環境分析	専1年	選択	2																
センサー工学	専1年	選択	2																
地域環境工学	専2年	選択	2																
小計																			
(C-2) それぞれの専門分野に関する深い学問的知識と実験・実習で得た多くの経験を持ち、それらを問題解決のために応用できる能力を身につける。		(d1) (d4)	応用地盤工学	専1年	選択	2	(d1) (d4)	各専門分野で指定された科目群より10単位以上修得のこと。各専門分野の科目群は別に記す。 修得条件はシラバスに記載。	10	0									
			細粒工学	専1年	選択	2													
			水圏工学	専1年	選択	2													
			応用エネルギー工学	専1年	選択	2													
			反応有機化学	専1年	選択	2													
			分離工学	専1年	選択	2													
			遺伝子工学	専1年	選択	2													
			複合構造工学	専2年	選択	2													
			有機機能材料	専2年	選択	2													
			化学反応論	専2年	選択	2													
生体高分子	専2年	選択	2																
建設設計工学	専2年	選択	2																
社会基盤計画学	専2年	選択	2																
(C-3) 長期的視点に立ち、計画的に継続して自らの能力を向上させようとする習慣とそれを実現する能力を身につける。		(g)	学外実習	本4年	選択	1	(g)		10	0									
			県内インターンシップ	本4年	選択	2													
			インターンシップ	専1,2年	選択	2													
			工学特別ゼミナール(1年次)	専1年	必修	2													
			工学特別ゼミナール(2年次)	専2年	必修	2													
小計																			
(D) 自分の考えを論理的に文章化する確かな記述力、国際的に通用するコミュニケーション基礎能力、プレゼンテーション能力を身につける。		(f)	卒業研究	本5年	必修	10	(f)	卒業研究(本科)、特別研究I、特別研究II(専攻科) 上記の科目の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載。	24	0									
			特別研究I	専1年	必修	4													
			特別研究II	専2年	必修	10													
			小計																
			(f)		(f)	英語						本4年	必修	2	(f)	英語、工業外国語、英語A、英語B、第2外国語A1、第2外国語B1、第2外国語C1、第2外国語AII、第2外国語BII、第2外国語CII、海外異文化交流(本科)時事英語、実用英会話、テクニカルライティング、ビジネスコミュニケーション、工学特別ゼミナール(専攻科) 上記の科目のうち8単位の修得を義務づける。 修得条件はシラバスに記載。	8	0	
						工業外国語						本4年	選択	1					
						英語A						本5年	選択	2					
						英語B						本5年	選択	2					
						時事英語						専1年	必修	2					
						実用英会話						専1年	必修	2					
テクニカルライティング	専1年	選択				2													
ビジネスコミュニケーション	専1年	選択				2													
工学特別ゼミナール(1年次)	専1年	必修				2													
工学特別ゼミナール(2年次)	専2年	必修				2													
第2外国語A I(ドイツ語)	本4年	選択				3													
第2外国語B I(フランス語)	本4年	選択				3													
第2外国語C I(中国語)	本4年	選択				3													
第2外国語A II(ドイツ語)	本5年	選択	2																
第2外国語B II(フランス語)	本5年	選択	2																
第2外国語C II(中国語)	本5年	選択	2																
海外異文化交流(留学)	本4,5年	選択	1																
小計																			



(4) 日本技術者教育認定基準

「地域環境デザイン工学」教育プログラムは、日本技術者教育認定機構が定める日本技術者教育認定基準（2012 年基準）を満たすように設定されています。下記に、その内容の一部を示します。

日本技術者教育認定基準 基準 1(2)

- (a) 地球的視点から多面的に物事を考える能力とその素養
- (b) 技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、および技術者が社会に対して負っている責任に関する理解（技術者倫理）
- (c) 数学及び自然科学に関する知識とそれらを応用できる能力
- (d) 当該分野において必要とされる専門的知識とそれらを応用する能力
  - (1) 専門工学〔工学（融合複合・新領域）における専門工学の内容は申請高等教育機関が規定するものとする〕の知識と能力
  - (2) いくつか工学の基礎的な知識・技術を駆使して実験を計画・遂行し、データを正確に解析し、工学的に考察し、かつ説明・説得する能力
  - (3) 工学の基礎的な知識・技術を統合し、創造性を発揮して課題を探求し、組み立て、解決する能力
  - (4) （工学）技術者が経験する実務上の問題点と課題を理解し、適切に対応する基礎的な能力
- (e) 種々の科学、技術および情報を利用して社会の要求を解決するためのデザイン能力
- (f) 論理的な記述力、口頭発表力、討議等のコミュニケーション能力
- (g) 自主的、継続的に学習できる能力
- (h) 与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力
- (i) チームで仕事をするための能力

日本技術者教育認定基準 基準 2.1

- (1) 当該分野にふさわしい「数学、自然科学及び科学技術に関する内容」  
 基礎工学として、①設計・システム系科目群、②情報・論理系科目群、③材料・バイオ系科目群、④力学系科目群、⑤社会技術系科目群の5群からなり、各群から少なくとも1科目、合計最低6科目を含むこと

「地域環境デザイン工学」教育プログラムの学習・教育目標と日本技術者教育認定基準との対応表

		日本技術者教育認定基準の基準に示す知識・能力										
		基準 1 (2)									基準 2.1	
		a	b	c	d1,4	d2,3	e	f	g	h	i	(1)
地域環境デザイン工学教育プログラムの学習教育目標	A	◎	◎									
	B					◎	◎			◎	◎	
	C-1			◎								◎
	C-2				◎							
	C-3								◎			
	D							◎				

このプログラムを他の教育機関からも受講できるように、規則をそろえています。それについては規則集を参照してください。